

# とましん景況レポート No.159

令和6年4月～6月

- 苫小牧信用金庫の第1四半期の活動、とましん景気動向調査概要
- 第143回地域景気動向調査 ..... 1  
アンケート調査による管内の概況  
－ 業況判断指数は、前期比20.4ポイント改善 ▲16.0 －
- 特別調査「中小企業における災害等への対応について」 ..... 8
- 管内主要経済統計 ..... 10
- 特集 国内経済・金融情勢 ..... 18
- お取引先企業のご紹介 ..... 20  
苫小牧市 協和製菓 株式会社 様  
千歳市 べつばら団子 様
- 最近の管内のトピックス - 新聞報道より - ..... 21



明るく 元気に このまちを

苫小牧信用金庫

## ●●● 苫小牧信用金庫の第1四半期の活動 ●●●

- 令和6年4月 ・ 亀の子音楽工房社員による出張コンサート（21日）  
・ 第7回とましんスタジアム杯少年野球大会（29日）
- 令和6年5月 ・ とましん景況レポート№158発行（20日）  
・ 宮沢賢治来苫百年記念 花展（20～21日）
- 令和6年6月 ・ 苫小牧室内楽研究会コンサート（7日）  
・ とましん郷土文庫通巻34号「昆布」発行（13日）  
・ 第19回新生公園花壇植栽事業（15日）  
・ 吉田勉油彩画個展（17日～28日）

### 新生公園花壇植栽事業

苫小牧市の施策「公園等里親制度」に参加し、木場町の新生公園にある花時計花壇にマリーゴールドなど5種8色の花苗約1,300株を植え込み、10月下旬まで除草や散水などの管理を行っていきます。

この取り組みは、環境美化活動を通して、清潔で美しい街づくりに貢献することを目的として、2006年度から19年連続で実施している、苫小牧信用金庫役職員によるボランティア活動です。



### 第143回 とましん景気動向調査概要

- 調査期間 令和6年 6月3日～6月7日
- 調査対象期間 令和6年 4月～6月（実績・今期）  
令和6年 7月～9月（予想・次期）
- 調査地域 苫小牧信用金庫の本店及び支店所在地（札幌圏を除く）
- 調査方法 アンケート用紙に基づく面談調査
- 分析方法 指数 D.I. (Diffusion Indexの頭文字) による分析

(件、%)

調査先数	製造業	卸売業	小売業	建設業	運輸業	サービス業	鉱業	不動産業	合計
対象先数	36	25	72	59	18	55	5	11	281
回答数	31	23	54	50	17	44	3	9	231
回答率	86.1	92.0	75.0	84.7	94.4	80.0	60.0	81.8	82.2

# 第143回地域景気動向調査アンケート結果（令和6年4月～6月期）

## 《概況》 — 全業種業況判断指数は、前期比改善 ▲16.0 —

1. 令和6年4～6月期の全業種業況判断D.Iは「▲16.0」、前期（令和6年1～3月）から20.4ポイント改善した。業種別にみると、不動産業（横這い）を除き全ての業種で前期比改善となった。地域別では、市部・郡部とも前期比改善、千歳地区も改善となったが、白老地区は後退した。
2. 収益面では、前年同期比売上額判断D.Iは「▲9.1」で前期から18.6ポイント改善。前年同期比収益判断D.Iは「▲17.7」で前期から13.7ポイント改善した。また、販売価格D.Iは「33.8」で前期から17.0ポイント上昇。仕入価格D.Iも「58.9」で前期から16.6ポイント上昇した。人手過不足D.Iは「▲32.9」で前期から0.3ポイント僅かに改善した。
3. 令和6年7～9月期（来期）の予想業況判断D.Iは「▲13.0」、今期から3.0ポイントの改善見通しとなった。業種別に見ると、建設業・運輸業・サービス業は改善、卸売業・鉱業・不動産業は横這い、製造業・小売業は後退の見通しとなった。地域別では、市部・郡部ともに改善見通し、千歳地区・白老地区は後退の見通しとなった。

## 業種別業況判断指数（D.I.）の推移

《構成比（%）の差（「良い」-「悪い」）による指数》

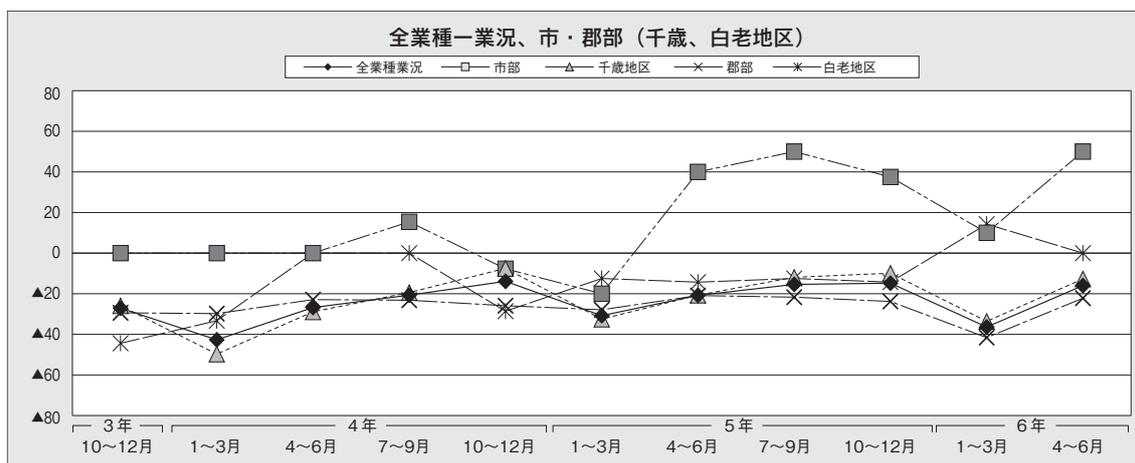
項目	令和4年			令和5年			令和6年			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月 予 想
全業種	▲26.8	▲20.7	▲13.9	▲30.8	▲20.8	▲15.4	▲14.8	▲36.4	▲16.0	▲13.0
市部	▲28.9	▲19.4	▲7.5	▲32.5	▲20.7	▲11.9	▲9.9	▲33.6	▲12.7	▲8.7
千歳地区	0.0	15.4	▲7.7	▲20.0	40.0	50.0	37.5	10.0	50.0	30.0
郡部	▲22.9	▲23.2	▲25.9	▲27.9	▲20.9	▲21.7	▲23.8	▲41.6	▲22.2	▲21.0
白老地区	0.0	0.0	▲28.6	▲12.5	▲14.3	▲12.5	▲14.3	14.3	0.0	▲12.5
製造業	▲19.4	▲15.6	▲10.0	▲23.3	0.0	▲3.3	▲17.9	▲29.2	▲12.9	▲25.8
卸売業	▲43.5	▲27.3	▲8.7	▲40.9	0.0	▲9.5	▲13.6	▲61.9	▲8.7	▲8.7
小売業	▲43.6	▲35.2	▲28.3	▲23.7	▲32.3	▲6.9	▲36.7	▲44.2	▲24.1	▲27.8
建設業	▲19.6	▲5.8	1.9	▲37.3	▲33.3	▲17.0	▲6.0	▲32.0	▲20.0	▲8.0
運輸業	▲29.4	▲50.0	▲5.6	▲37.5	▲33.3	▲47.1	11.8	▲29.4	0.0	11.8
サービス業	▲23.8	▲15.6	▲26.7	▲46.7	▲16.3	▲32.6	▲13.3	▲38.6	▲22.7	▲11.4
鉱業	0.0	60.0	20.0	20.0	▲40.0	50.0	66.7	33.3	66.7	66.7
不動産業	18.2	▲33.3	▲9.1	22.2	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

\*▲はマイナス、少数点第2位四捨五入、以下文中数値、表、グラフすべて同じ。

## 全業種

— 業況判断指数、前期比20.4ポイント改善 —

回答事業所231件（回答率82.2%）



## 【全業種の業況判断】

全業種の今期業況判断（P 5 上段の表参照）は、「良い」とする企業15.6%に対して、「悪い」とする企業31.6%でD.I.は「▲16.0」、前期「▲36.4」（令和6年1～3月期）と比較して20.4ポイント改善した。

なお、今期の業況判断D.I.は、前回調査時における今期予想「▲8.6」（27.8ポイントの改善予想）を7.4ポイント下回った。

また、来期（令和6年7～9月）の予想業況判断は、「良い」とする企業15.6%、「悪い」とする企業28.6%でD.I.は「▲13.0」、今期に比べ3.0ポイント改善の見通しとなった。

全業種の業況判断	今期D.I.	前期比		前年同期比		来期予想業況判断D.I.	
全業種（231社）	▲ 16.0	20.4 <sub>点</sub> 改善	↑	4.8 <sub>点</sub> 改善	↑	▲ 13.0	3.0 <sub>点</sub> 改善

## ■業種別

業種別では、不動産業（横這い）を除く全ての業種で前期比改善となった。

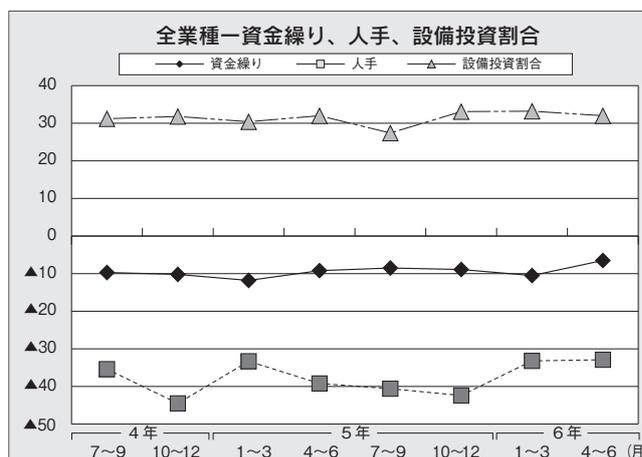
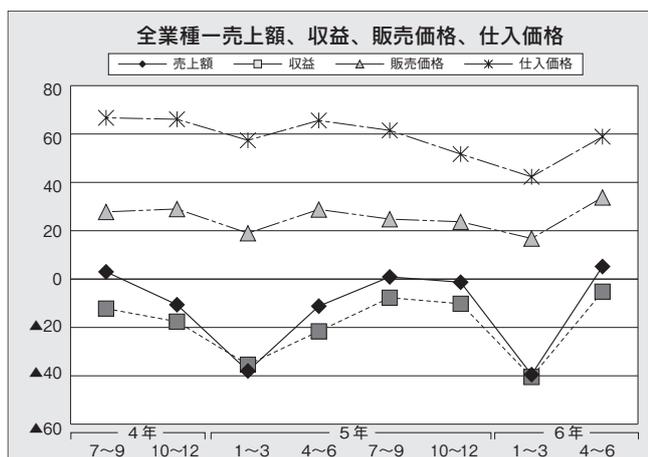
また、来期の予想業況判断D.I.は、建設業・運輸業・サービス業で改善見通し、卸売業・鉱業・不動産業は横這い、製造業・小売業で後退の見通しとなった。

業種別の業況判断	今期D.I.	前期比		前年同期比		来期予想業況判断D.I.	
製造業（31社）	▲ 12.9	16.3 <sub>点</sub> 改善	↑	12.9 <sub>点</sub> 後退	↓	▲ 25.8	12.9 <sub>点</sub> 後退
卸売業（23社）	▲ 8.7	53.2 <sub>点</sub> 改善	↑	8.7 <sub>点</sub> 後退	↓	▲ 8.7	0.0 <sub>点</sub> 横這
小売業（54社）	▲ 24.1	20.1 <sub>点</sub> 改善	↑	8.2 <sub>点</sub> 改善	↑	▲ 27.8	3.7 <sub>点</sub> 後退
建設業（50社）	▲ 20.0	12.0 <sub>点</sub> 改善	↑	13.3 <sub>点</sub> 改善	↑	▲ 8.0	12.0 <sub>点</sub> 改善
運輸業（17社）	0.0	29.4 <sub>点</sub> 改善	↑	33.3 <sub>点</sub> 改善	↑	11.8	11.8 <sub>点</sub> 改善
サービス業（44社）	▲ 22.7	15.9 <sub>点</sub> 改善	↑	6.4 <sub>点</sub> 後退	↓	▲ 11.4	11.3 <sub>点</sub> 改善
鉱業（3社）	66.7	33.4 <sub>点</sub> 改善	↑	106.7 <sub>点</sub> 改善	↑	66.7	0.0 <sub>点</sub> 横這
不動産業（9社）	0.0	0.0 <sub>点</sub> 横這	—	22.2 <sub>点</sub> 後退	↓	0.0	0.0 <sub>点</sub> 横這

## ■地区別

地区別では、市部・郡部ともに前期比改善。また、千歳地区も改善となったが、白老地区は後退した。来期の予想業況判断D.I.は、市部・郡部ともに改善見通しとなったが、千歳地区・白老地区は後退の見通しとなった。

地区別の業況判断	今期D.I.	前期比		前年同期比		来期予想業況判断D.I.	
市部（150社）	▲ 12.7	20.9 <sub>点</sub> 改善	↑	8.0 <sub>点</sub> 改善	↑	▲ 8.7	4.0 <sub>点</sub> 改善
千歳地区（10社）	50.0	40.0 <sub>点</sub> 改善	↑	10.0 <sub>点</sub> 改善	↑	30.0	20.0 <sub>点</sub> 後退
郡部（81社）	▲ 22.2	19.4 <sub>点</sub> 改善	↑	1.3 <sub>点</sub> 後退	↓	▲ 21.0	1.2 <sub>点</sub> 改善
白老地区（8社）	0.0	14.3 <sub>点</sub> 後退	↓	14.3 <sub>点</sub> 改善	↑	▲ 12.5	12.5 <sub>点</sub> 後退



## 【売上等の状況】

- ・「売上額指数」は全業種「5.2」前期比44.7ポイント改善。千歳地区は「50.0」前期比50.0ポイント改善。白老地区は「12.5」前期比1.8ポイント後退した。業種別ではすべての業種で前期比改善となった。先行きは全業種「4.8」今期から0.4ポイント後退の見通しとなった。
- ・「対前年売上」は全業種「▲9.1」前期比18.6ポイント改善。業種別では卸売業・小売業・建設業・運輸業・サービス業・鉱業で前期比改善、不動産業は横這い、製造業は後退となった。
- ・「収益」は全業種「▲5.2」前期比35.3ポイント改善。千歳地区は「40.0」前期比30.0ポイント改善。白老地区は「0.0」前期比横這いとなった。業種別ではすべての業種で前期比改善となった。先行きは全業種「▲3.0」今期から2.2ポイント改善の見通しとなった。
- ・「対前年収益」は全業種「▲17.7」前期比13.7ポイント改善。業種別に見ると不動産業は横這いとなったが、その他の業種はすべて前期比改善となった。
- ・「販売価格」は全業種「33.8」前期比17.0ポイント上昇。業種別に見てもすべての業種が前期比上昇となった。
- ・「仕入価格」は全業種「58.9」前期比16.6ポイント上昇。業種別ではサービス業で前期比低下となったが、その他の業種はすべて上昇した。
- ・「在庫数量」は全業種「0.6」前期比5.0ポイント改善。業種別では製造業・小売業・建設業・不動産業で前期比改善、鉱業は横這い、卸売業は前期比後退となった。
- ・「資金繰り」は全業種「▲6.5」前期比4.0ポイント改善。業種別では製造業・卸売業・運輸業・サービス業で前期比改善、鉱業は横這い、小売業・建設業・不動産業で前期比後退となった。
- ・「残業時間」は全業種「▲6.9」前期比11.7ポイント改善。業種別に見ると鉱業は横這いとなったが、その他の業種はすべて前期比増加となった。
- ・「人手」は全業種「▲32.9」前期比0.3ポイント改善。業種別では製造業・卸売業・小売業・不動産業で前期比改善、鉱業は横這い、建設業・運輸業・サービス業は前期比後退となった。
- ・「設備の状況」は全業種「▲12.2」前期比2.0ポイント改善。業種別では製造業・卸売業・建設業で前期比改善、鉱業は横這い、小売業・運輸業・サービス業は前期比後退となった。
- ・「設備投資実施割合」は前期比1.2ポイント下降し「32.0%」となった

## 全業種アンケート調査指数(D.I.)の推移

	令和4年			令和5年				令和6年		
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月予想
売上額	▲4.3	3.0	▲10.6	▲38.0	▲11.2	0.9	▲1.3	▲39.5	5.2	4.8
収益	▲19.6	▲12.2	▲17.6	▲35.4	▲21.6	▲7.7	▲10.2	▲40.5	▲5.2	▲3.0
販売価格	28.1	27.8	29.0	19.0	28.8	24.8	23.7	16.8	33.8	20.8
仕入価格	70.2	66.7	66.1	57.4	65.6	61.5	51.7	42.3	58.9	44.6
在庫数量	▲7.4	0.6	▲2.2	2.3	0.5	0.0	▲1.7	▲4.4	0.6	▲3.5
資金繰り	▲11.9	▲9.7	▲10.2	▲11.8	▲9.2	▲8.5	▲8.9	▲10.5	▲6.5	▲5.2
対前年売上	▲8.9	▲6.3	▲2.0	▲14.8	▲11.6	▲3.4	▲18.6	▲27.7	▲9.1	
対前年収益	▲31.1	▲17.3	▲20.0	▲26.6	▲22.4	▲15.4	▲23.3	▲31.4	▲17.7	
残業時間	▲12.3	▲0.8	▲3.3	▲14.3	▲9.2	▲7.3	▲2.1	▲18.6	▲6.9	▲0.9
人手	▲30.2	▲35.4	▲44.5	▲33.3	▲39.2	▲40.6	▲42.4	▲33.2	▲32.9	▲36.8
設備状況	▲9.8	▲9.6	▲13.2	▲15.8	▲10.8	▲12.8	▲14.2	▲14.2	▲12.2	▲14.0
設備投資割合	30.6	31.2	31.8	30.4	32.0	27.4	33.1	33.2	32.0	23.0

\* 「在庫は運輸業、サービス業を除く6業種 \* 「設備投資割合」は、不動産業を除く7業種の設備投資を実施した先の割合。

「経営上の問題点」・「経営上の重点施策」上位10項目 (令和6年4月～6月期調査)

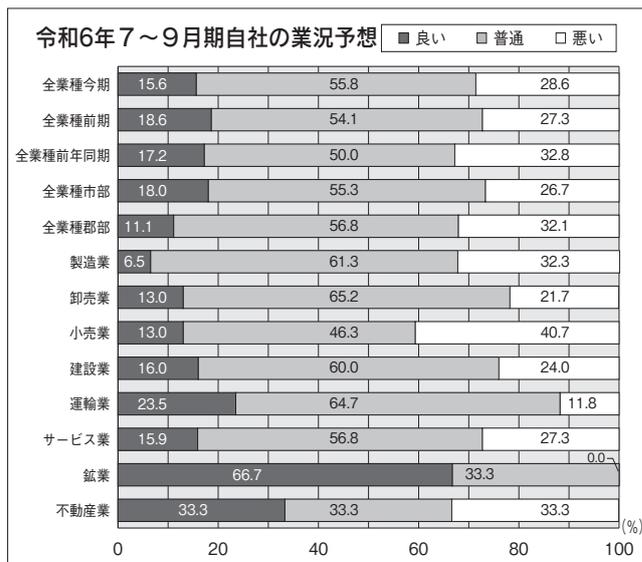
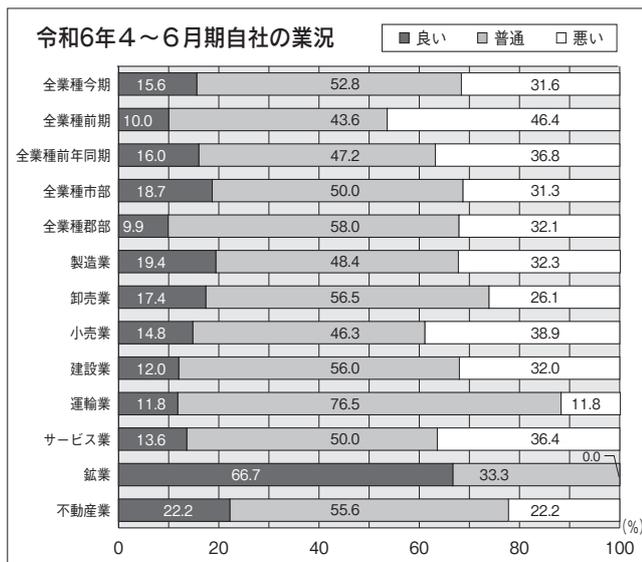
全業種・経営上の問題点	割合 (%)			全業種・経営上の重点施策	割合 (%)		
	市部	郡部	合計		市部	郡部	合計
人手不足	45.3	38.3	42.9	経費を節減する	48.0	59.3	51.9
売上の停滞・減少	39.3	40.7	39.8	人材を確保する	44.7	34.6	41.1
材料価格の上昇 (原材料高)	35.4	46.9	39.3	販路を広げる	27.3	21.0	25.1
人件費の増加	28.7	23.5	26.8	情報力を強化する	18.7	4.9	13.9
利幅の縮小	22.7	19.8	21.6	技術力を高める (強化する)	13.3	13.6	13.4
同業者間の競争の激化	21.3	6.2	16.0	教育訓練を強化する	16.7	6.2	13.0
商圏人口の減少	4.4	29.8	14.8	労働条件を改善 (良く) する	9.3	12.3	10.4
技術力の不足	14.5	14.3	14.4	品揃えを充実 (改善) する	8.0	7.4	7.8
大型店との競争の激化	7.1	19.2	13.0	特になし	8.0	6.2	7.4
商店街集客力の低下	7.1	15.4	11.1	広告・宣伝を強化する	7.3	6.2	6.9

景気動向調査主要指数(D.I.)の推移

	製 造 業					運 輸 業				
	5年7～9月	5年10～12月	6年1～3月	6年4～6月	6年7～9月予想	5年7～9月	5年10～12月	6年1～3月	6年4～6月	6年7～9月予想
売 上 額	3.3	7.1	▲ 54.2	6.5	▲ 3.2	▲ 5.9	5.9	▲ 52.9	29.4	▲ 5.9
収 益	3.3	▲ 7.1	▲ 62.5	0.0	▲ 16.1	▲ 11.8	▲ 11.8	▲ 29.4	11.8	▲ 11.8
販 売 価 格	26.7	21.4	8.3	35.5	22.6	11.8	11.8	5.9	35.3	0.0
仕 入 価 格	60.0	39.3	41.7	58.1	45.2	82.4	35.3	17.6	47.1	35.3
在 庫 数 量	3.3	▲ 3.6	▲ 12.5	▲ 3.2	▲ 9.7					
資 金 繰 り	▲ 13.3	▲ 10.7	▲ 20.8	▲ 6.5	▲ 6.5	▲ 17.6	5.9	▲ 11.8	0.0	▲ 11.8
前年比売上	13.3	▲ 17.9	0.0	▲ 9.7		▲ 23.5	▲ 17.6	▲ 35.3	▲ 17.6	
前年比収益	▲ 3.3	▲ 28.6	▲ 25.0	▲ 16.1		▲ 29.4	▲ 17.6	▲ 41.2	▲ 5.9	
残 業 時 間	▲ 20.0	▲ 10.7	▲ 29.2	▲ 12.9	0.0	▲ 29.4	5.9	▲ 17.6	▲ 11.8	0.0
人 手	▲ 36.7	▲ 28.6	▲ 45.8	▲ 29.0	▲ 32.3	▲ 70.6	▲ 82.4	▲ 70.6	▲ 76.5	▲ 64.7
設 備 状 況	▲ 13.3	▲ 10.7	▲ 20.8	▲ 6.5	▲ 9.7	▲ 17.6	▲ 11.8	▲ 11.8	▲ 17.6	▲ 17.6
	卸 売 業					サ ー ビ ス 業				
売 上 額	38.1	13.6	▲ 66.7	52.2	26.1	▲ 18.6	▲ 15.6	▲ 38.6	▲ 9.1	11.4
収 益	28.6	13.6	▲ 57.1	34.8	26.1	▲ 18.6	▲ 35.6	▲ 45.5	▲ 15.9	4.5
販 売 価 格	38.1	50.0	23.8	43.5	30.4	20.9	13.3	18.2	22.7	22.7
仕 入 価 格	57.1	45.5	42.9	52.2	39.1	62.8	60.0	63.6	61.4	50.0
在 庫 数 量	▲ 4.8	4.5	14.3	13.0	4.3					
資 金 繰 り	▲ 19.0	▲ 13.6	▲ 28.6	0.0	▲ 8.7	▲ 7.0	▲ 11.1	▲ 4.5	0.0	▲ 4.5
前年比売上	23.8	▲ 22.7	▲ 28.6	17.4		▲ 25.6	▲ 22.2	▲ 18.2	▲ 15.9	
前年比収益	33.3	▲ 9.1	▲ 23.8	17.4		▲ 32.6	▲ 35.6	▲ 34.1	▲ 31.8	
残 業 時 間	14.3	▲ 13.6	▲ 14.3	4.3	0.0	▲ 4.7	4.4	▲ 11.4	0.0	9.1
人 手	▲ 14.3	▲ 27.3	▲ 14.3	▲ 8.7	▲ 4.3	▲ 39.5	▲ 48.9	▲ 43.2	▲ 45.5	▲ 45.5
設 備 状 況	▲ 9.5	▲ 13.6	▲ 14.3	▲ 8.7	▲ 4.3	▲ 23.3	▲ 22.2	▲ 18.2	▲ 22.7	▲ 22.7
	小 売 業					鉱 業				
売 上 額	▲ 3.4	▲ 11.7	▲ 34.6	▲ 22.2	▲ 22.2	25.0	33.3	▲ 100.0	100.0	100.0
収 益	▲ 12.1	▲ 18.3	▲ 42.3	▲ 33.3	▲ 27.8	0.0	66.7	▲ 66.7	100.0	66.7
販 売 価 格	43.1	28.3	23.1	38.9	29.6	0.0	66.7	0.0	66.7	33.3
仕 入 価 格	62.1	58.3	30.8	57.4	44.4	50.0	33.3	0.0	33.3	0.0
在 庫 数 量	1.7	1.7	▲ 1.9	3.7	1.9	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 33.3
資 金 繰 り	▲ 12.1	▲ 20.0	▲ 17.3	▲ 20.4	▲ 16.7	25.0	66.7	33.3	33.3	33.3
前年比売上	10.3	▲ 26.7	▲ 44.2	▲ 22.2		25.0	66.7	66.7	100.0	
前年比収益	▲ 20.7	▲ 30.0	▲ 46.2	▲ 40.7		25.0	66.7	66.7	100.0	
残 業 時 間	▲ 8.6	▲ 3.3	▲ 19.2	▲ 11.1	▲ 13.0	25.0	66.7	0.0	0.0	66.7
人 手	▲ 27.6	▲ 28.3	▲ 26.9	▲ 22.2	▲ 27.8	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3
設 備 状 況	▲ 10.3	▲ 11.7	▲ 9.6	▲ 13.0	▲ 14.8	▲ 25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	建 設 業					不 動 産 業				
売 上 額	5.7	0.0	▲ 24.0	10.0	16.0	0.0	36.4	▲ 11.1	11.1	33.3
収 益	▲ 15.1	▲ 4.0	▲ 24.0	▲ 4.0	2.0	0.0	36.4	▲ 11.1	22.2	44.4
販 売 価 格	11.3	16.0	18.0	28.0	10.0	0.0	36.4	0.0	44.4	22.2
仕 入 価 格	67.9	58.0	52.0	70.0	54.0	▲ 12.5	27.3	11.1	44.4	11.1
在 庫 数 量	5.7	▲ 2.0	▲ 2.0	2.0	▲ 4.0	▲ 25.0	▲ 9.1	▲ 33.3	▲ 22.2	▲ 22.2
資 金 繰 り	1.9	0.0	2.0	0.0	6.0	▲ 12.5	▲ 9.1	▲ 11.1	▲ 33.3	11.1
前年比売上	▲ 17.0	▲ 24.0	▲ 42.0	▲ 8.0		0.0	45.5	11.1	11.1	
前年比収益	▲ 26.4	▲ 30.0	▲ 32.0	▲ 16.0		25.0	45.5	22.2	22.2	
残 業 時 間	▲ 5.7	▲ 8.0	▲ 28.0	▲ 16.0	▲ 2.0	0.0	18.2	11.1	33.3	0.0
人 手	▲ 58.5	▲ 56.0	▲ 18.0	▲ 34.0	▲ 52.0	▲ 50.0	▲ 36.4	▲ 44.4	▲ 22.2	▲ 11.1
設 備 状 況	▲ 5.7	▲ 14.0	▲ 14.0	▲ 6.0	▲ 12.0					

\* 各項目選択肢の構成比 (%) の差による指数。選択肢は項目ごとに異なる。

## 「業況判断」(D.I.)の回答の内訳



### 製造業

— 業況判断指数 前期比改善 ▲12.9 —

回答事業所31件 (回答率86.1%)

管内製造業31社による業況判断指数は「▲12.9」、前期比16.3ポイント改善したが、前年同期比では12.9ポイント後退した。

地域別では、市部が「0.0」前期比23.5ポイント改善、郡部も「▲36.4」前期比6.5ポイント改善した。

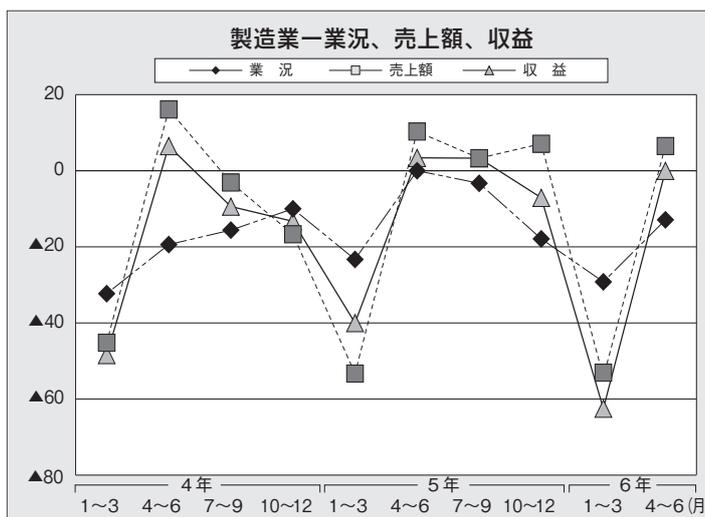
売上額指数は「6.5」、前期比60.6ポイント改善したが、前年同期比では3.8ポイント後退した。

収益指数は「0.0」、前期比62.5ポイント改善したが、前年同期比では3.4ポイント後退した。

業況判断指数は1頁の表参照

売上額指数、収益指数は4頁の表参照

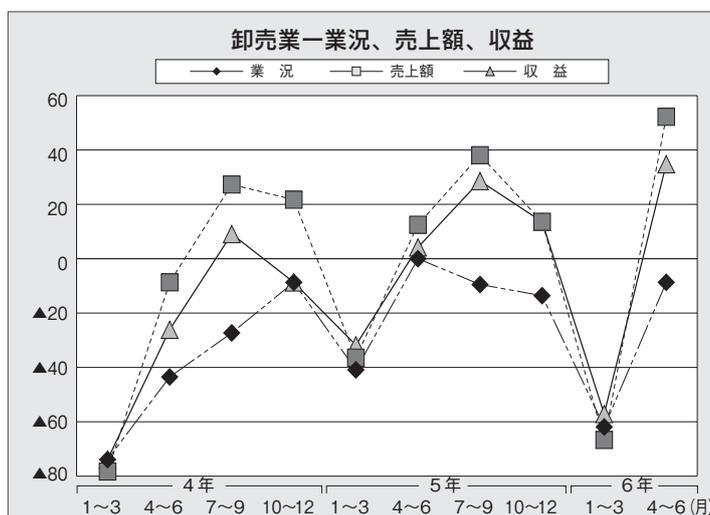
以下各業種とも同じ



### 卸売業

— 業況判断指数 前期比改善 ▲8.7 —

回答事業所23件 (回答率92.0%)



管内卸売業23社による業況判断指数は「▲8.7」、前期比53.2ポイント改善したが、前年同期比では8.7ポイント後退した。

地域別では、市部が「▲11.1」前期比53.6ポイント改善、郡部も「0.0」前期比50.0ポイント改善した。

売上額指数は「52.2」、前期比118.9ポイント大きく改善、前年同期比でも39.7ポイント改善した。

収益指数は「34.8」、前期比91.9ポイント改善、前年同期比でも30.6ポイント改善した。

## 小売業

— 業況判断指数 前期比改善 ▲24.1 —

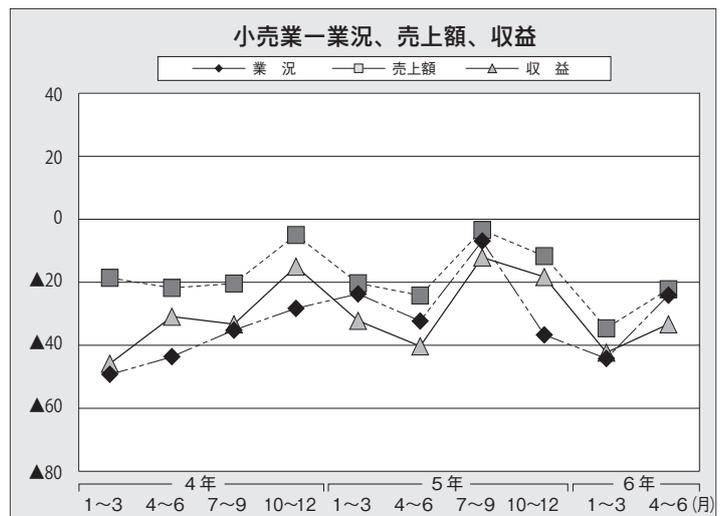
回答事業所54件 (回答率75.0%)

管内小売業54社による業況判断指数は「▲24.1」、前期比20.1ポイント改善、前年同期比でも8.2ポイント改善した。

地域別では、市部が「▲14.3」前期比28.6ポイント改善、郡部も「▲34.6」前期比11.2ポイント改善した。

売上額指数は「▲22.2」、前期比12.4ポイント改善、前年同期比でも2.0ポイント改善した。

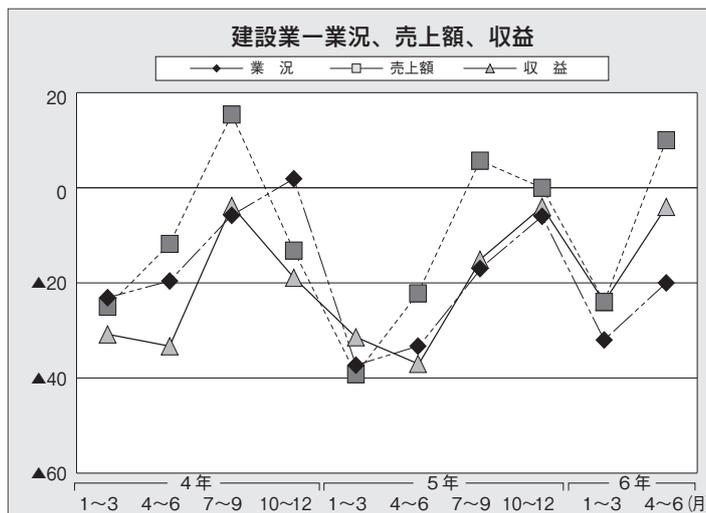
収益指数は「▲33.3」、前期比9.0ポイント改善、前年同期比でも7.0ポイント改善した。



## 建設業

— 業況判断指数 前期比改善 ▲20.0 —

回答事業所50件 (回答率84.7%)



管内建設業50社による業況判断指数は「▲20.0」、前期比12.0ポイント改善、前年同期比でも13.3ポイント改善した。

地域別では、市部が「▲19.4」前期比10.0ポイント改善、郡部も「▲21.4」前期比16.1ポイント改善した。

売上額指数は「10.0」、前期比34.0ポイント改善、前年同期比でも32.2ポイント改善した。

収益指数は「▲4.0」、前期比20.0ポイント改善、前年同期比でも33.0ポイント改善した。

## 運輸業

— 業況判断指数 前期比改善 0.0 —

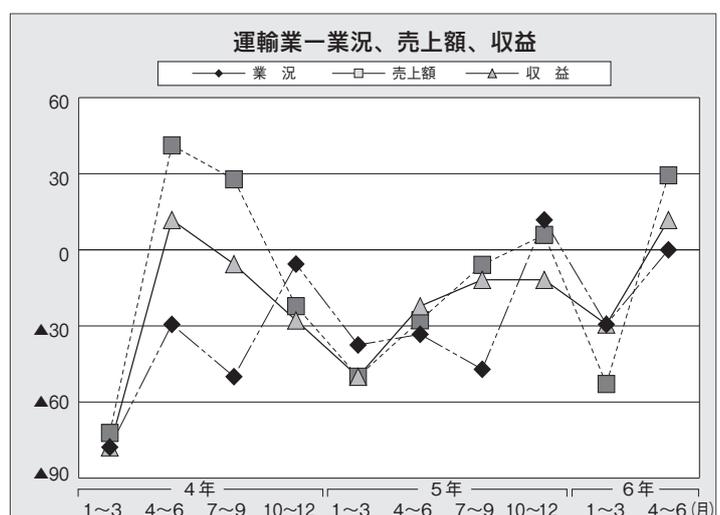
回答事業所17件 (回答率94.4%)

管内運輸業17社による業況判断指数は「0.0」、前期比29.4ポイント改善、前年同期比でも33.3ポイント改善した。

地域別では、市部が「0.0」前期比22.2ポイント改善、郡部も「0.0」前期比37.5ポイント改善した。

売上額指数は「29.4」、前期比82.3ポイント改善、前年同期比でも57.2ポイント改善した。

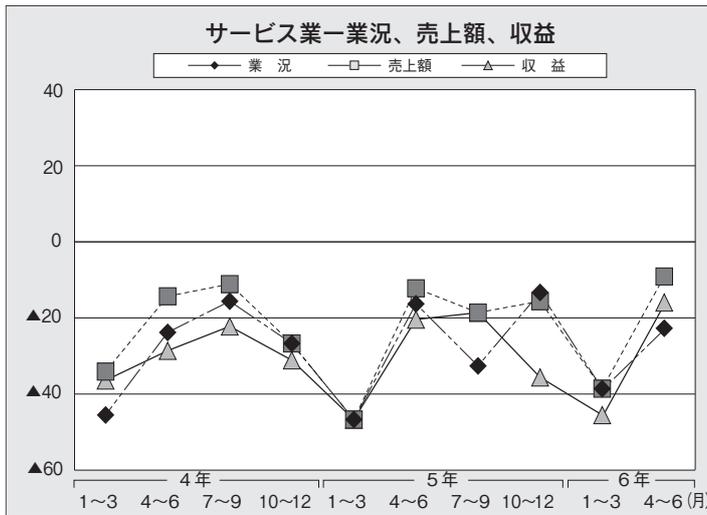
収益指数は「11.8」、前期比41.2ポイント改善、前年同期比でも34.0ポイント改善した。



## サービス業

— 業況判断指数 前期比改善 ▲22.7 —

回答事業所44件（回答率80.0%）



管内サービス業44社による業況判断指数は「▲22.7」、前期比15.9ポイント改善したが、前年同期比では6.4ポイント後退した。

地域別では、市部が「▲19.4」前期比10.6ポイント改善、郡部も「▲30.8」前期比26.3ポイント改善した。

売上額指数は「▲9.1」、前期比29.5ポイント改善、前年同期比でも3.1ポイント改善した。

収益指数は「▲15.9」、前期比29.6ポイント改善、前年同期比でも4.5ポイント改善した。

## 鉱業

— 業況判断指数 前期比改善 66.7 —

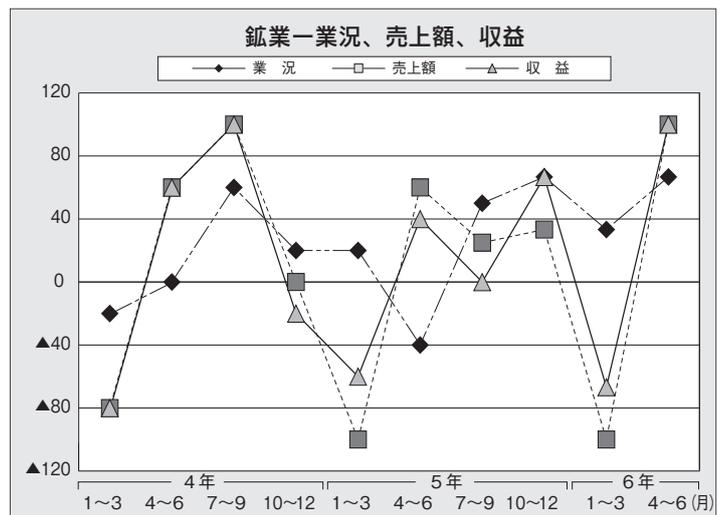
回答事業所3件（回答率60.0%）

管内鉱業3社による業況判断指数は「66.7」、前期比33.4ポイント改善、前年同期比でも106.7ポイント改善した。

地域別では、郡部が「66.7」前期比33.4ポイント改善、市部は調査回答先なし。

売上額指数は「100.0」、前期比200.0ポイント改善、前年同期比でも40.0ポイント改善した。

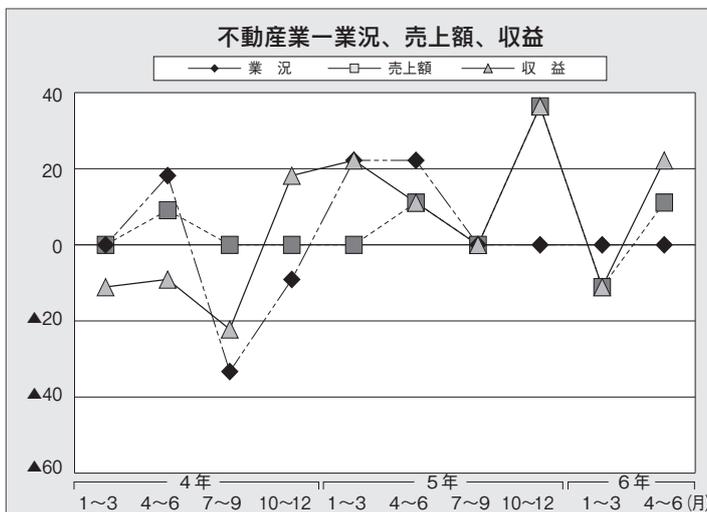
収益指数は「100.0」、前期比166.7ポイント改善、前年同期比でも60.0ポイント改善した。



## 不動産業

— 業況判断指数 前期比横這い 0.0 —

回答事業所9件（回答率81.8%）



管内不動産業9社による業況判断指数は「0.0」、前期比横這いとなったが、前年同期比では22.2ポイント後退した。

地域別では、市部が「0.0」前期比横這い、郡部も「0.0」前期比横這いとなった。

売上額指数は「11.1」、前期比22.2ポイント改善、前年同期比では横這いとなった。

収益指数は「22.2」、前期比33.3ポイント改善、前年同期比でも11.1ポイント改善した。

# 特別調査アンケート結果

～中小企業における災害等への対応について～

## 問1 貴社では、普段どのような災害を意識していますか。

### ◎全ての業種で「地震」に対する意識が高い

ふだん意識している災害は、「地震」が80.1%（185社）と最も高く、「火災」48.1%（111社）、「風・水害（台風・ゲリラ豪雨など）」46.3%（107社）、「コロナなどの感染症」33.3%（77社）と続く。

業種別に見ると、全ての業種で「地震」が最も高く、「火災」は製造業64.5%（20社）、サービス業61.4%（27社）、「風・水害（台風・ゲリラ豪雨）」は卸売業56.5%（13社）、建設業54.0%（27社）で高くなっている。また、ここ数年猛威を振るった「コロナなどの感染症」は、サービス業45.5%（20社）、小売業38.9%（21社）、建設業38.0%（19社）が高い数値を示した。

（最大3つまで回答） 単位：%

普段どのような災害を意識していますか (231社)	全業種	製造業	卸売業	小売業	建設業	運輸業	サービス業	鉱業	不動産
地震	80.1	77.4	73.9	75.9	84.0	82.4	81.8	100.0	88.9
火災	48.1	64.5	52.2	48.1	30.0	35.3	61.4	0.0	55.6
風・水害（台風・ゲリラ豪雨など）	46.3	45.2	56.5	40.7	54.0	47.1	38.6	66.7	44.4
雪害	13.9	19.4	8.7	9.3	12.0	35.3	9.1	33.3	22.2
上記以外の自然災害	8.7	6.5	4.3	13.0	12.0	11.8	2.3	33.3	0.0
コロナなどの感染症	33.3	19.4	17.4	38.9	38.0	23.5	45.5	33.3	22.2
犯罪行為（大規模テロなど）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
国際紛争	5.2	9.7	4.3	7.4	2.0	5.9	4.5	0.0	0.0
その他	1.3	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	2.3	0.0	11.1
あまり意識していない	6.5	6.5	4.3	7.4	6.0	11.8	6.8	0.0	0.0

## 問2 貴社では、自社の現在の災害への備えについてどのように評価していますか。また、実際に災害にあった際、自社の備えをどう感じましたか。

### ◎現在の災害への備えは「できている」「どちらかというできている」合わせて4割

自社の現在の災害への備えについて、「どちらかというできていない」が44.8%（103社）で最も高く、「どちらかというできている」が35.7%（82社）で続く。

また、実際に災害にあった際の評価は、「どちらかというできていなかった」が32.9%（76社）、「どちらかというできていた」が29.0%（67社）、「災害にあったことがない」が22.1%（51社）と続いた。

単位：%

備えの評価と災害時に感じた備えの状況	全業種	製造業	卸売業	小売業	建設業	運輸業	サービス業	鉱業	不動産
備えの評価	できている	5.2	3.2	8.7	9.3	4.0	2.3	0.0	11.1
	どちらかというできている	35.7	32.3	26.1	40.7	28.0	41.2	46.5	66.7
	どちらかというできていない	44.8	35.5	56.5	35.2	64.0	17.6	46.5	55.6
	できていない	14.3	29.0	8.7	14.8	4.0	41.2	4.7	33.3
災害時の感想	できていた	2.2	0.0	0.0	9.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	どちらかというできていた	29.0	19.4	26.1	35.2	28.0	23.5	34.1	33.3
	どちらかというできていなかった	32.9	32.3	52.2	20.4	40.0	23.5	36.4	33.3
	できていなかった	13.9	29.0	8.7	9.3	14.0	17.6	11.4	0.0
災害にあったことがない	22.1	19.4	13.0	25.9	18.0	35.3	18.2	33.3	44.4

## 問3 貴社では、事業継続にかかる保険に加入されていますか。加入内容または加入していない理由をお答えください。

### ◎保険加入は73.2%（169社）

事業継続にかかる保険の加入状況は、設備や店舗が損壊した時の補償「財産補償のみ加入」が39.0%（90社）、「財産補償、休業補償の両方に加入」が28.6%（66社）、休業を余儀なくされた時の損害の補償「休業補償のみ加入」が5.6%（13社）となり、合わせて73.2%（169社）が何らかの保険に加入している。

また、保険に加入していない方の理由としては、「災害保険についてよくわからない」が8.2%（19社）、「自社には必要ない（災害時の損失額が低いなど）」が5.6%（13社）、「保険料が高い」が4.3%（10社）などとなっている。

単位：%

災害保険の加入内容又は未加入の理由		全業種	製造業	卸売業	小売業	建設業	運輸業	サービス業	鉱業	不動産
加入内容	財産補償、休業補償の両方に加入	28.6	29.0	21.7	20.4	40.0	11.8	40.9	0.0	11.1
	財産補償のみ加入	39.0	41.9	43.5	40.7	36.0	41.2	34.1	66.7	33.3
	休業補償のみ加入	5.6	3.2	0.0	7.4	4.0	5.9	11.4	0.0	0.0
未加入理由	保険料が高い	4.3	6.5	8.7	3.7	2.0	5.9	2.3	0.0	11.1
	補償内容が狭い	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
	災害保険についてよくわからない	8.2	6.5	4.3	11.1	8.0	17.6	0.0	33.3	22.2
	保険金額が低い	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自社には必要ない（災害時の損失が低いなど）	5.6	6.5	4.3	3.7	6.0	5.9	6.8	0.0	11.1
災害保険に加入しているかどうかわからない		8.2	6.5	17.4	13.0	4.0	11.8	4.5	0.0	0.0

## 問4 貴社が使用している建物の耐震状況 及び 自社所有地周辺のハザードマップの確認状況についてお答えください。

### ◎建物の耐震は「できている」と「どちらかというできている」で45%

使用している建物の耐震状況については、「どちらかというできている」が29.4%（68社）、「どちらかというできていない」が20.8%（48社）、「できていない」が18.6%（43社）と続く。

自社所有地周辺のハザードマップの確認状況は、「確認して、大きな問題はなかった」が41.6%（96社）、「確認して問題があったが、対策は取っていない」が29.4%（68社）と続き、「確認していない」は22.5%（52社）となった。

単位：%

建物の耐震及びハザードマップの状況		全業種	製造業	卸売業	小売業	建設業	運輸業	サービス業	鉱業	不動産
耐震状況	できている	15.6	3.2	17.4	20.4	10.0	11.8	22.7	0.0	33.3
	どちらかというできている	29.4	29.0	13.0	29.6	32.0	29.4	31.8	66.7	33.3
	どちらかというできていない	20.8	19.4	26.1	18.5	30.0	23.5	13.6	0.0	11.1
	できていない	18.6	25.8	17.4	14.8	20.0	17.6	18.2	0.0	22.2
	わからない	15.6	22.6	26.1	16.7	8.0	17.6	13.6	33.3	0.0
ハザードマップ	確認して、大きな問題はなかった	41.6	41.9	39.1	38.9	46.0	29.4	45.5	33.3	44.4
	確認して問題があり、対策を取った	6.5	0.0	0.0	5.6	8.0	11.8	13.6	0.0	0.0
	確認して問題があったが、対策は取っていない	29.4	35.5	26.1	31.5	28.0	17.6	27.3	66.7	33.3
	確認していない	22.5	22.6	34.8	24.1	18.0	41.2	13.6	0.0	22.2

## 問5 貴社では災害時の対応として現預金をどの程度保有（少ない時期を想定）していますか。また、公的団体から金融支援を受けたことがありますか。

### ◎現預金の保有状況は、売上の1か月以上が57.3%

現預金の保有が最も少ない時期の保有状況は、「売上の1～3か月分」が29.3%（68社）、「売上の3か月以上」が28.0%（65社）、「売上の2週間分～1か月分」が12.5%（29社）と続き、業種別では建設業やサービス業の保有割合が高かった。

また、公的団体からの災害対策金融支援の利用有無については、「受けたことがない」が53.5%（123社）、「コロナ禍の時に受けたことがある」が42.6%（98社）となった。

単位：%

現預金の保有及び金融支援の利用		全業種	製造業	卸売業	小売業	建設業	運輸業	サービス業	鉱業	不動産
現預金保有	売上の3か月以上	28.0	15.6	13.0	13.0	50.0	17.6	36.4	33.3	55.6
	売上の1～3か月分	29.3	31.3	26.1	29.6	34.0	29.4	27.3	0.0	22.2
	売上の2週間分～1か月分	12.5	25.0	17.4	14.8	2.0	11.8	11.4	33.3	0.0
	売上の2週間未満	6.9	6.3	13.0	14.8	2.0	11.8	0.0	0.0	0.0
	ほとんど保有していない	11.2	12.5	17.4	11.1	8.0	17.6	6.8	0.0	22.2
	把握していない	12.1	9.4	13.0	16.7	4.0	11.8	18.2	33.3	0.0
金融支援	コロナ禍の時に受けたことがある	42.6	63.3	43.5	42.6	34.0	35.3	36.4	66.7	55.6
	自然災害の時に受けたことがある	1.3	0.0	0.0	1.9	2.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	コロナ禍、自然災害の両方で受けたことがある	2.6	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	6.8	0.0	0.0
	受けたことがない	53.5	36.7	56.5	50.0	64.0	64.7	56.8	0.0	44.4

# 管内主要経済統計

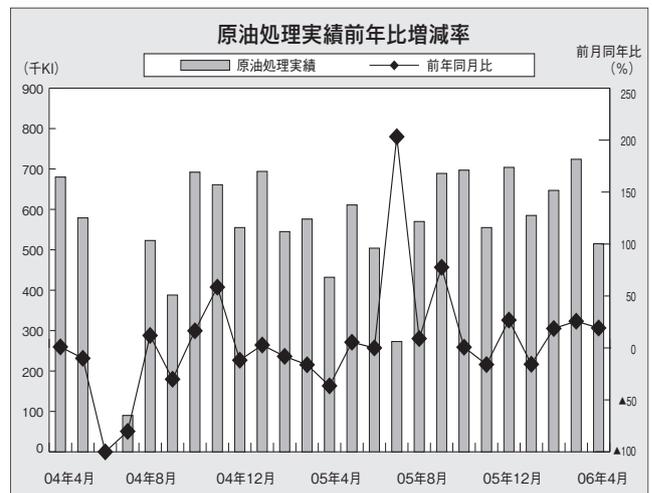
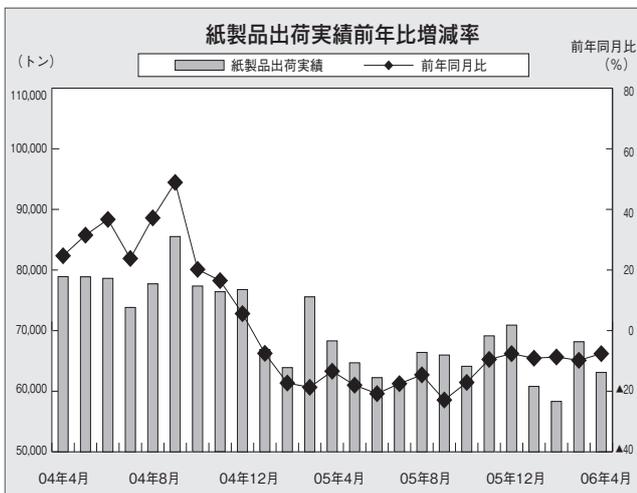
## 1. 製造業の状況

### 主要製造業生産動向

(単位：比%)

	紙製品出荷実績 トン	前年 同月比	原油処理実績 千kl	前年 同月比		紙製品出荷実績 トン	前年 同月比	原油処理実績 千kl	前年 同月比
05年04月	68,310	▲ 13.4	432	▲ 36.5	05年11月	69,139	▲ 9.5	555	▲ 16.0
05年05月	64,692	▲ 18.0	611	5.5	05年12月	70,909	▲ 7.6	704	26.8
05年06月	62,235	▲ 20.8	504	—	06年01月	60,796	▲ 9.1	585	▲ 15.7
05年07月	60,908	▲ 17.5	273	203.3	06年02月	58,320	▲ 8.7	647	18.7
05年08月	66,399	▲ 14.6	570	9.0	06年03月	68,161	▲ 9.8	724	25.7
05年09月	65,972	▲ 22.9	689	77.6	06年04月	63,120	▲ 7.6	515	19.2
05年10月	64,114	▲ 17.1	697	0.7					

\*資料出所 … 苫小牧商工会議所調査月報



## 2. 土木・建設の状況

### ① 公共工事

(単位：百万円・%)

	苫小牧市		室蘭建設管理部		室蘭開発建設部	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
05年04月	884	154.0	374	▲ 22.2	5,461	▲ 24.2
05年05月	1,038	▲ 44.3	583	255.5	4,397	5.2
05年06月	3,549	127.1	812	▲ 46.6	4,719	4.3
05年07月	984	98.8	1,535	150.4	1,893	▲ 32.5
05年08月	861	35.4	1,156	11.5	1,104	76.1
05年09月	648	2.4	2,476	248.2	941	37.0
05年10月	841	151.8	292	183.5	1,517	▲ 56.8
05年11月	246	▲ 37.7	114	▲ 72.7	177	▲ 26.9
05年12月	0	▲ 100.0	13	▲ 95.6	0	▲ 100.0
06年01月	8	100.0	30	▲ 3.2	0	▲ 100.0
06年02月	0	▲ 100.0	12	▲ 7.7	612	198.5
06年03月	512	▲ 22.9	1,012	▲ 5.4	5,492	26.3
06年04月	148	▲ 83.3	442	18.2	5,091	▲ 6.8

\*資料出所 … 苫小牧市、苫小牧商工会議所調査月報

## ② 建築確認申請・住宅着工

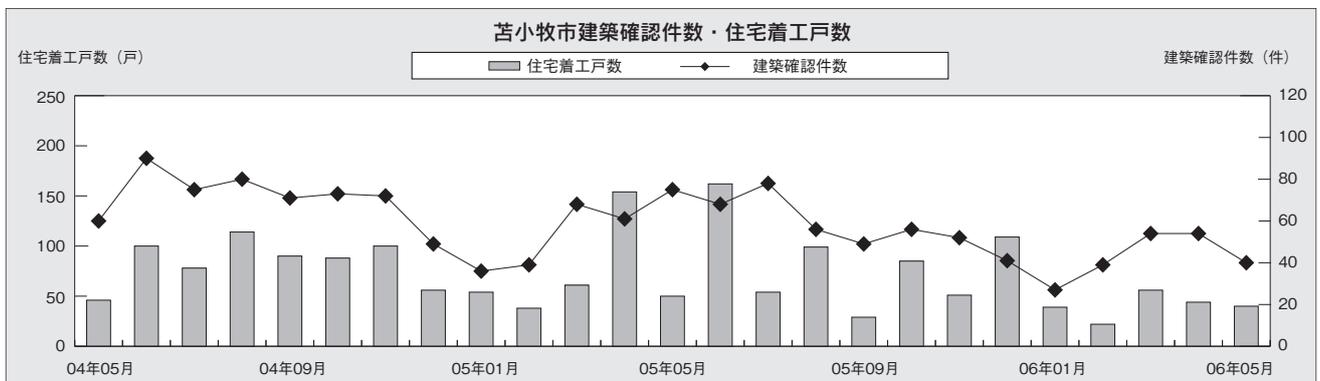
### 苫小牧市建築確認申請件数・住宅着工戸数

	建築確認件数		住宅着工戸数	
	件数	前年比(%)	戸数	前年比(%)
05年05月	75	25.0	50	8.7
05年06月	68	▲24.4	162	62.0
05年07月	78	4.0	54	▲30.8
05年08月	56	▲30.0	99	▲13.2
05年09月	49	▲31.0	29	▲67.8
05年10月	56	▲23.3	85	▲3.4
05年11月	52	▲27.8	51	▲49.0
05年12月	41	▲16.3	109	94.6
06年01月	27	▲25.0	39	▲27.8
06年02月	39	0.0	22	▲42.1
06年03月	54	▲20.6	56	▲8.2
06年04月	54	▲11.5	44	▲71.4
06年05月	40	▲46.7	40	▲20.0

### 管内建築確認申請件数・住宅着工戸数(6年3月~6年5月)

	建築確認申請件数		住宅着工戸数	
	件数	前年差異	戸数	前年差異
苫小牧市	148	▲56	140	▲125
千歳市	108	18		
白老町	2	▲5	3	▲5
厚真町	1	▲3	0	0
安平町	3	▲1	1	▲7
むかわ町	4	▲3	1	▲5
日高町	5	▲7	4	▲4
平取町	1	▲2	4	3
新冠町	0	0	1	1
新ひだか町	16	5	9	5

建築確認件数は、指定確認検査機関の受付件数を加えて掲載しております。



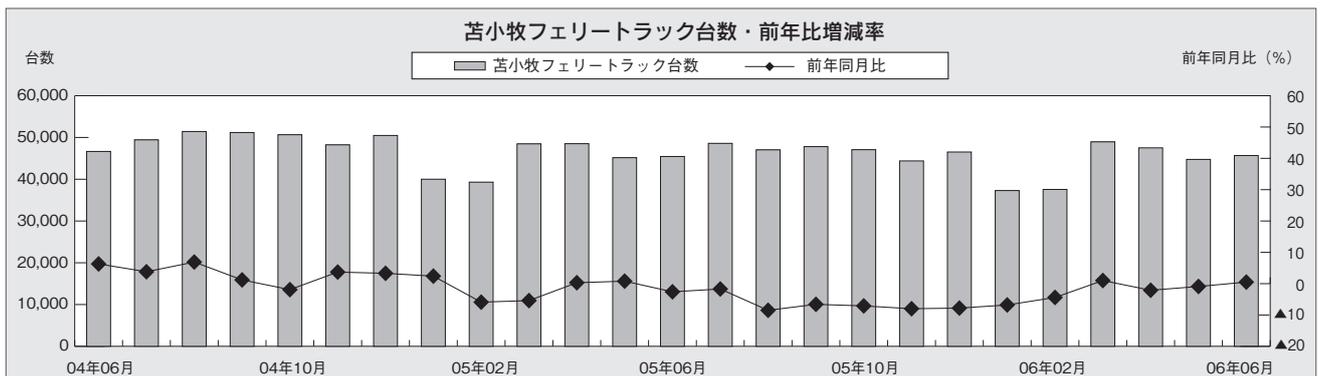
## 3. 海運・運輸の状況

### ① 苫小牧港フェリー運航状況

(単位: 比%)

	航海数		乗用車		トラック		バス		自動2輪		旅客	
	便	前年比	台	前年比	台	前年比	台	前年比	台	前年比	人	前年比
05年06月	550	▲3.8	23,287	12.5	45,445	▲2.6	116	87.1	4,244	48.6	64,221	15.1
05年07月	604	0.8	29,510	13.9	48,591	▲1.7	405	197.8	8,541	6.5	96,378	21.4
05年08月	560	▲11.0	35,932	11.6	47,039	▲8.5	354	105.8	9,742	▲3.7	122,539	15.3
05年09月	552	▲5.3	25,537	6.3	47,808	▲6.6	141	67.9	6,238	▲0.4	77,221	6.1
05年10月	559	▲8.7	22,778	3.5	47,072	▲7.1	104	40.5	1,857	13.6	67,494	15.1
05年11月	534	▲10.6	16,746	3.6	44,385	▲8.0	119	43.4	458	42.2	49,892	10.2
05年12月	546	▲6.7	16,360	5.6	46,516	▲7.8	109	4.8	257	36.7	51,531	3.6
06年01月	457	▲7.7	14,588	▲1.2	37,290	▲6.8	116	52.6	213	0.5	48,216	7.6
06年02月	465	▲1.1	12,287	9.2	37,558	▲4.4	120	▲20.5	158	▲23.3	41,052	9.3
06年03月	555	▲3.0	21,860	7.7	48,952	1.0	206	32.9	317	▲17.4	66,757	7.8
06年04月	551	1.1	22,648	2.2	47,514	▲2.1	114	▲0.9	1,515	9.9	62,652	5.9
06年05月	583	▲1.7	24,386	▲3.0	44,746	▲0.9	98	▲48.1	3,035	2.6	73,022	▲5.6
06年06月	559	1.6	24,903	6.9	45,670	0.5	130	12.1	5,020	18.3	69,334	8.0

\*資料出所 … 北海道運輸局室蘭運輸支局苫小牧海事事務所 \*上り・下り便の合計 \*トラックはシャーシのみを含む

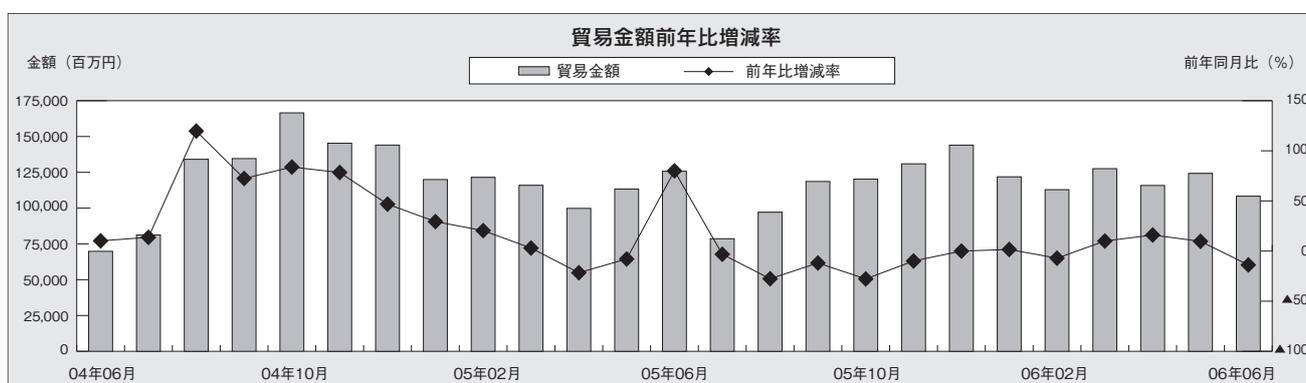


## ② 貿易実績

(単位：百万円・%)

	輸 出		輸 入		貿易金額合計	
	金 額	前年比	金 額	前年比	金 額	前年比
05年06月	17,987	13.1	107,734	99.8	125,721	80.0
05年07月	18,191	▲34.1	60,441	12.6	78,632	▲3.2
05年08月	14,128	▲56.6	82,999	▲18.3	97,127	▲27.6
05年09月	17,287	▲54.9	101,306	5.2	118,594	▲11.9
05年10月	17,913	▲24.3	102,354	▲28.4	120,267	▲27.8
05年11月	21,681	30.2	109,249	▲15.1	130,930	▲9.9
05年12月	19,091	15.8	124,867	▲2.1	143,957	▲0.0
06年01月	15,168	47.5	106,694	▲2.7	121,862	1.6
06年02月	27,260	83.4	85,624	▲19.7	112,883	▲7.1
06年03月	19,099	30.4	108,443	7.1	127,542	10.0
06年04月	17,701	▲24.5	98,120	28.5	115,821	16.0
06年05月	14,570	▲15.3	109,672	14.1	124,241	9.7
06年06月	28,761	59.9	79,562	▲26.1	108,324	▲13.8

\*資料出所 … 函館税関苫小牧税関支署 (速報値)

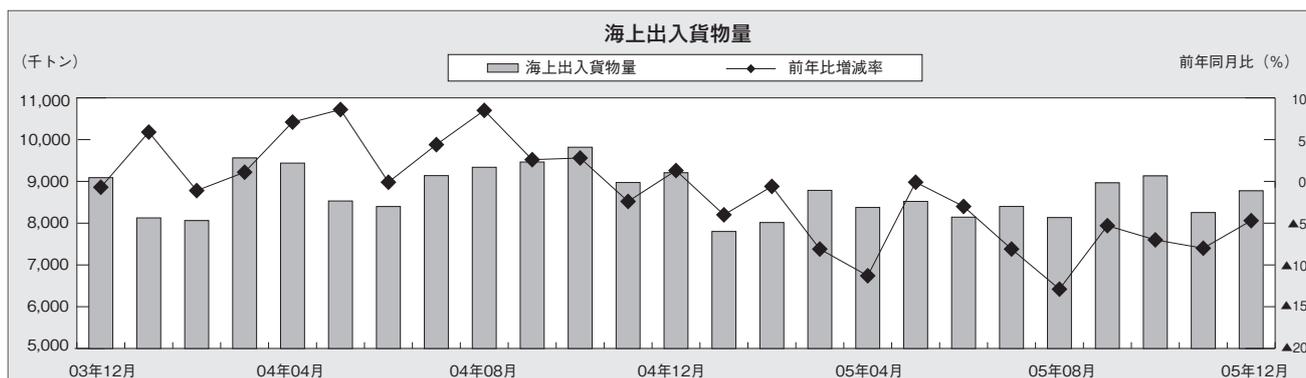


## ③ 苫小牧港港湾荷役取扱状況 (重量)

(単位：千トン・%)

	輸 出	前年比	輸 入	前年比	移 出	前年比	移 入	前年比	合 計	前年比
04年12月	84	6.8	1,293	▲3.0	3,846	▲1.6	3,983	5.6	9,207	1.3
05年01月	44	▲40.2	1,339	▲13.2	3,264	▲2.6	3,153	▲0.2	7,801	▲4.0
05年02月	73	▲6.2	1,515	27.3	3,257	▲4.9	3,169	▲5.9	8,015	▲0.6
05年03月	56	▲42.0	1,367	7.4	3,621	▲11.2	3,741	▲9.1	8,785	▲8.1
05年04月	148	51.9	915	▲33.0	3,580	▲10.1	3,733	▲6.5	8,376	▲11.3
05年05月	81	▲5.0	1,661	61.3	3,399	▲8.5	3,380	▲8.7	8,521	▲0.1
05年06月	74	▲1.4	853	24.3	3,577	▲2.3	3,640	▲8.4	8,144	▲3.0
05年07月	78	▲51.1	823	▲2.0	3,730	▲3.8	3,769	▲11.5	8,400	▲8.1
05年08月	46	▲78.4	910	▲18.7	3,565	▲9.8	3,613	▲10.8	8,134	▲12.9
05年09月	62	▲74.4	1,521	22.4	3,681	▲6.1	3,703	▲8.8	8,966	▲5.3
05年10月	68	▲35.4	1,718	11.9	3,700	▲9.8	3,646	▲10.5	9,132	▲7.0
05年11月	102	34.6	1,263	▲1.8	3,537	▲8.8	3,352	▲10.2	8,254	▲8.0
05年12月	84	0.1	1,520	17.6	3,729	▲3.1	3,442	▲13.6	8,775	▲4.7

\*資料出所 … 苫小牧港管理組合 (HP) (\*数値は速報値のため、後日変更となることもあります。)



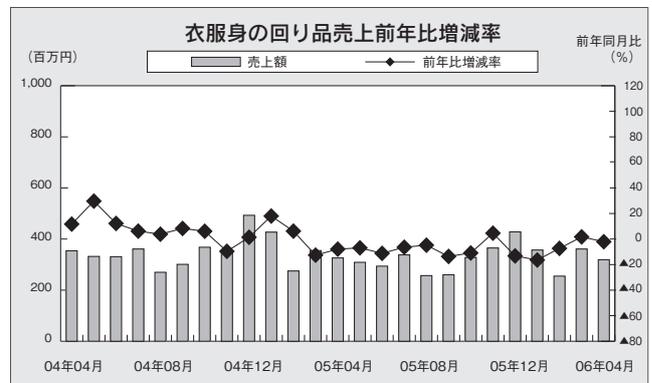
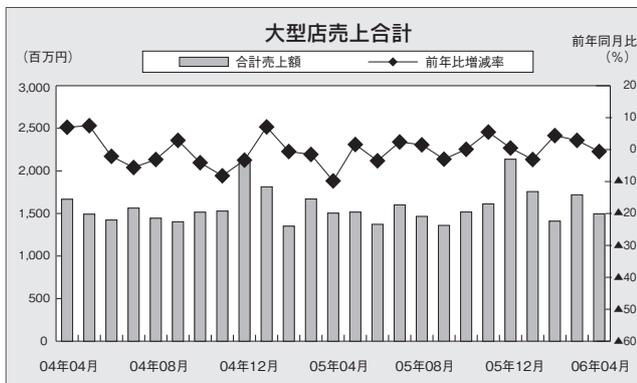
# 4. 商業の状況

## ① 大型店売上状況

(単位：百万円・%)

	衣服・身の回り品		飲食料品		飲食店		家具・建具・什器		その他		合計	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
05年04月	326	▲7.9	329	0.0	212	5.0	48	20.0	589	▲20.6	1,504	▲9.8
05年05月	309	▲6.9	342	4.0	207	▲3.3	38	0.0	620	7.1	1,516	1.6
05年06月	294	▲11.2	311	▲10.9	184	▲6.1	44	12.8	540	6.3	1,373	▲3.5
05年07月	338	▲6.4	395	5.1	204	▲1.9	41	5.1	623	7.6	1,601	2.4
05年08月	257	▲4.8	328	▲5.5	235	5.4	40	▲11.1	606	8.4	1,466	1.5
05年09月	260	▲13.6	333	4.1	193	▲2.5	41	▲16.3	533	▲0.2	1,360	▲3.0
05年10月	328	▲10.9	356	6.9	202	▲4.7	54	1.9	577	5.1	1,517	0.1
05年11月	365	4.6	385	3.8	209	0.0	43	▲2.3	610	9.9	1,612	5.5
05年12月	428	▲13.2	550	2.4	270	▲0.7	52	13.0	837	7.6	2,137	0.5
06年01月	357	▲16.4	397	2.3	252	▲1.6	33	▲5.7	718	1.6	1,757	▲3.1
06年02月	255	▲7.3	359	5.6	206	1.0	33	▲2.9	557	11.8	1,410	4.4
06年03月	361	1.7	385	6.1	244	3.0	44	▲13.7	685	3.2	1,719	2.9
06年04月	319	▲2.1	335	1.8	203	▲4.2	46	▲4.2	593	0.7	1,495	▲0.6

\*資料出所 苫小牧商工会議所調査月報 \*大型店＝売り場面積が1,500㎡以上の小売店の内、令和4年3月から市内2店舗を対象。

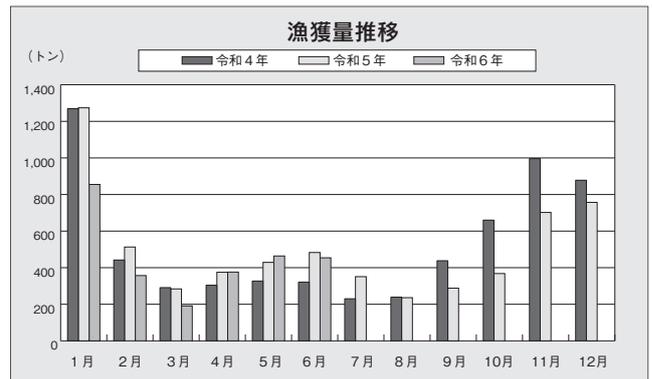
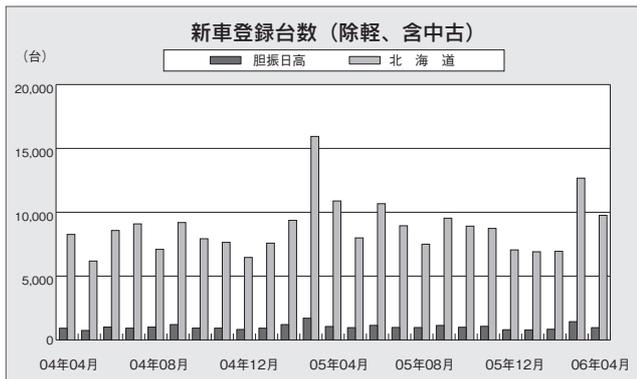


## ② 新車登録台数

(単位：台・%)

	新車登録台数 (除軽)										苫小牧市軽自動車新規登録台数	
	胆振日高 (室支局管内)						北海道		全国		新規登録台数	前年比
	小型乗用	前年比	その他	前年比	合計	前年比	前年比	前年比				
05年04月	360	12.1	695	15.8	1,055	14.5	10,884	31.7	219,987	23.1	643	14.2
05年05月	331	28.8	634	29.9	965	29.5	7,993	29.4	206,663	28.1	519	▲2.3
05年06月	343	▲1.2	801	20.5	1,144	13.0	10,672	24.5	259,794	31.5	482	▲19.7
05年07月	260	0.8	721	7.9	981	5.9	8,943	▲1.6	253,241	18.3	465	▲11.8
05年08月	308	▲11.2	665	0.0	973	▲3.9	7,499	5.7	213,865	19.4	462	▲11.8
05年09月	382	▲8.0	757	▲4.4	1,139	▲5.6	9,534	3.7	272,208	12.5	570	▲10.5
05年10月	380	▲3.1	617	13.6	997	6.6	8,914	12.5	243,144	14.9	647	14.3
05年11月	376	4.7	695	21.9	1,071	15.3	8,735	14.3	255,054	15.1	565	▲1.6
05年12月	273	7.1	529	▲6.9	802	▲2.6	7,052	9.1	232,320	11.1	357	▲25.2
06年01月	248	▲6.4	541	▲18.0	789	▲14.7	6,906	▲8.9	216,926	▲5.5	296	▲37.8
06年02月	206	▲40.3	635	▲26.3	841	▲30.3	6,942	▲25.9	226,769	▲16.0	347	▲30.2
06年03月	306	▲39.0	1,128	▲6.2	1,434	▲15.9	12,672	▲20.5	303,216	▲19.9	458	▲6.0
06年04月	224	▲37.8	741	6.6	965	▲8.5	9,758	▲10.3	207,536	▲5.7	503	▲21.8

資料出所 … 苫小牧商工会議所調査月報・経済産業局・自販連



【商業関連情報—卸売市場・物価・漁獲】

苫小牧市管内漁獲高動向概算値（令和6年4月～6月）

（数量：トン、金額：千円、増減-比：％）

数量上位	数量	前年比増減	順位	金額上位	金額	前年比増減
かれい	320	▲15.9	1	たこ	109,299	138.5
たこ	282	118.4	2	かれい	63,690	▲28.8
つぶ	273	▲39.9	3	つぶ	56,889	▲31.8
その他魚類	154	249.7	4	ほっき貝	22,274	▲18.6
たら類	110	88.6	5	その他魚類	28,157	112.4
06年4月～6月合計	1,294	0.6		06年4月～6月合計	346,312	▲0.6
06年1月～6月累計	2,698	▲19.7		06年1月～6月累計	737,514	▲0.5

苫小牧市公設地方卸売市場取扱実績（令和6年4月～6月）

（単位：数量-トン、金額-千円、比-％）

	水産物計	前年比	果実	前年比	蔬菜	前年比	青果計	前年比	
06年4月～6月	数量	2,655	2.2	465	▲11.5	955	▲15.9	1,421	▲14.5
	金額	1,601,711	▲8.9	274,709	▲2.7	307,940	2.5	583,091	0.1
06年4月～06年6月累計	数量	2,655	2.2	465	▲11.5	955	▲15.9	1,421	▲14.5
	金額	1,601,711	▲8.9	274,709	▲2.7	307,940	2.5	583,091	0.1

\* 苫小牧市公設地方卸売市場資料より当金庫が作成

苫小牧市生活必需品価格動向、平均価格対前月上昇・下降上位5品（令和6年6月10日調べ）

（単位：円・％）

前月上昇品	6月平均価格	対前月変動率	前年同月平均価格	順位	前月下降品	6月平均価格	対前月変動率	前年同月平均価格
もち	122.4	47.5	85.1	1	えび	248.4	▲28.7	246.2
リンゴ	104.8	17.2	90.3	2	レタス	38.0	▲24.2	29.9
うるち米	2177.9	13.0	1975.0	3	いか	236.5	▲17.1	220.5
玉ねぎ	36.1	12.5	31.6	4	にんじん	59.6	▲13.7	37.0
トイレトペーパー	511.0	10.6	445.0	5	まがれい	93.3	▲11.1	86.6

\* 生鮮品は100gあたり、うるち米は道産ななつほし（無洗米を除く）、トイレトペーパーはシングル・50m・12ロール入り

苫小牧市燃料価格動向（令和6年6月）

（単位：円・％）

品名	単位	5月価格	6月価格	前月上昇率	（高値～安値）	前年6月平均価格
家庭用灯油	1リットル	118.56	118.56	0.0	120.00～113.30	111.38
プロパンガス	10.0m <sup>3</sup>	10,871.40	10,871.50	0.0	12,705.00～8,690.00	10,659.00
ガソリン（フル）	1リットル	166.14	169.00	1.7	171.00～165.00	163.86
ガソリン（セルフ）	1リットル	163.24	165.84	1.6	174.00～163.00	159.84

\* 家庭用灯油…ホームタンク配達料込み、プロパンガス…体積買（10.0m<sup>3</sup>）、ガソリン…レギュラー

\* 以上2表苫小牧市生活必需品価格動向表（苫小牧市市民生活部市民生活課）より当金庫が作成

5. 不動産の状況

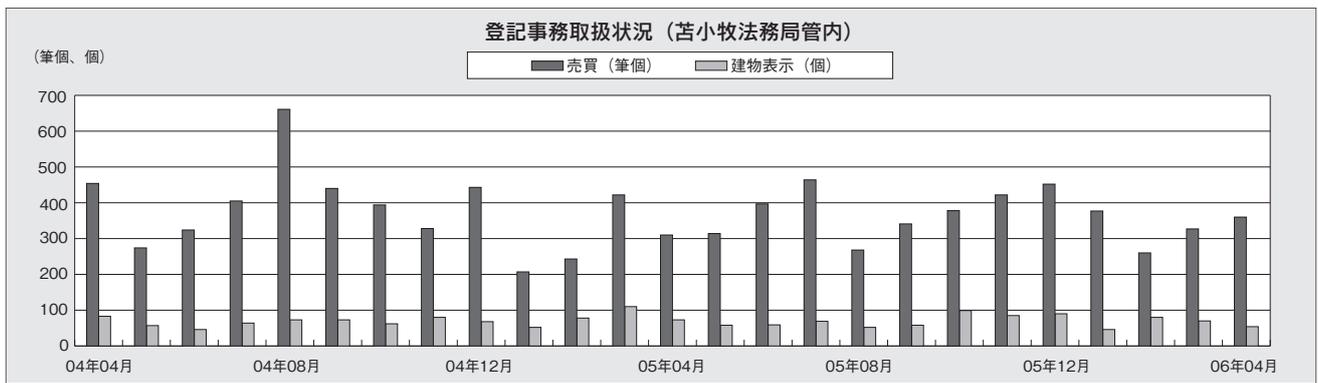
登記事務取扱状況

	売買 （筆個）	前年比 （％）	建物表示 （個）	前年比 （％）	国土法届出件数 （件）	前年差 （件）
05年04月	310	▲31.7	73	▲12.0	5	1
05年05月	314	14.6	58	1.8	4	2
05年06月	397	22.5	59	28.3	3	0
05年07月	464	14.6	69	7.8	3	▲5
05年08月	268	▲59.5	52	▲28.8	4	1
05年09月	341	▲22.5	58	▲20.5	7	5
05年10月	378	▲4.1	99	59.7	3	1
05年11月	422	28.7	85	6.3	5	2
05年12月	452	2.0	90	32.4	12	8
06年01月	377	82.1	46	▲11.5	1	0
06年02月	260	7.0	80	2.6	3	0
06年03月	327	▲22.5	70	▲36.4	5	▲2
06年04月	360	16.1	54	▲26.0	7	2

資料出所 … 売買・建物表示—苫小牧商工会議所調査月報（法務局苫小牧支局）

国土法届出—苫小牧商工会議所調査月報（苫小牧市都市建設部）

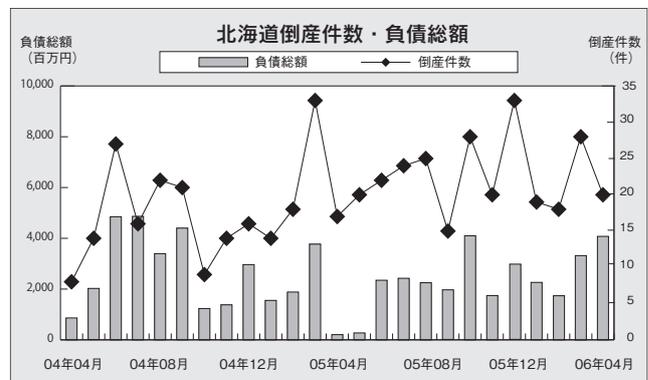
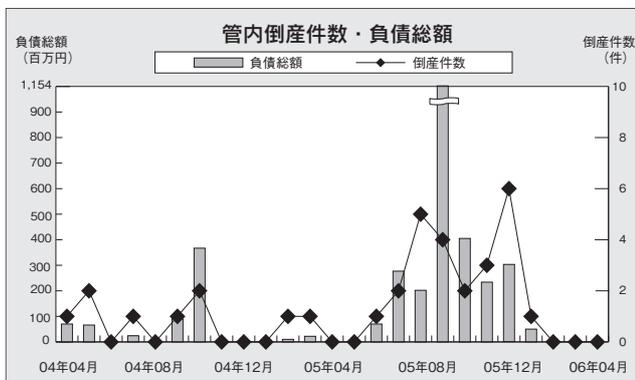
\* 法務局苫小牧支局管内 … 苫小牧市、白老町、厚真町、安平町、むかわ町



## 6. 企業倒産状況

	管内				北海道			
	倒産件数 (件)	前年差 (件)	負債総額 (百万円)	前年比 (%)	倒産件数	前年比 (%)	負債総額 (百万円)	前年比 (%)
05年04月	0	▲1	0	▲100.0	17	6.3	204	▲95.8
05年05月	0	0	0	—	20	▲9.1	272	▲92.0
05年06月	1	0	70	▲22.2	22	4.8	2,348	▲46.6
05年07月	2	0	277	▲24.5	24	166.7	2,425	96.7
05年08月	5	3	202	▲30.1	25	78.6	2,250	2219.6
05年09月	4	0	1,154	1597.1	15	▲11.8	1,955	167.4
05年10月	2	0	405	598.3	28	40.0	4,099	15.2
05年11月	3	3	234	—	20	42.9	1,745	26.5
05年12月	6	6	302	—	33	106.3	2,965	0.0
06年01月	1	1	50	—	19	35.7	2,263	45.7
06年02月	2	1	50	400.0	18	0.0	1,737	▲7.8
06年03月	0	▲1	0	▲100.0	28	▲15.2	3,323	▲12.0
06年04月	0	0	0	—	20	17.6	4,076	1,898.0

\*資料出所 … 苫小牧商工会議所  
 \*管内 … 胆振東部、日高西部  
 \*管内の計数は法的整理のみ、任意整理は含まず

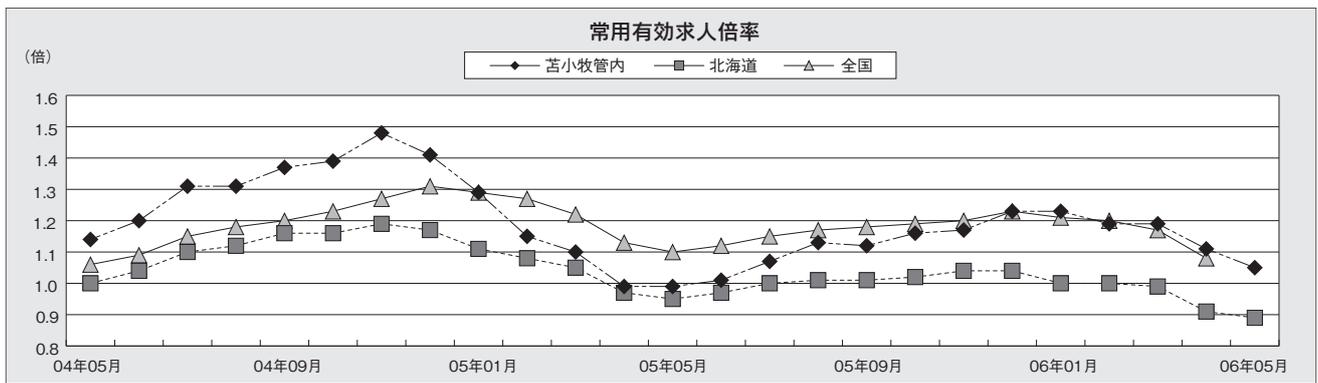


## 7. 雇用状況

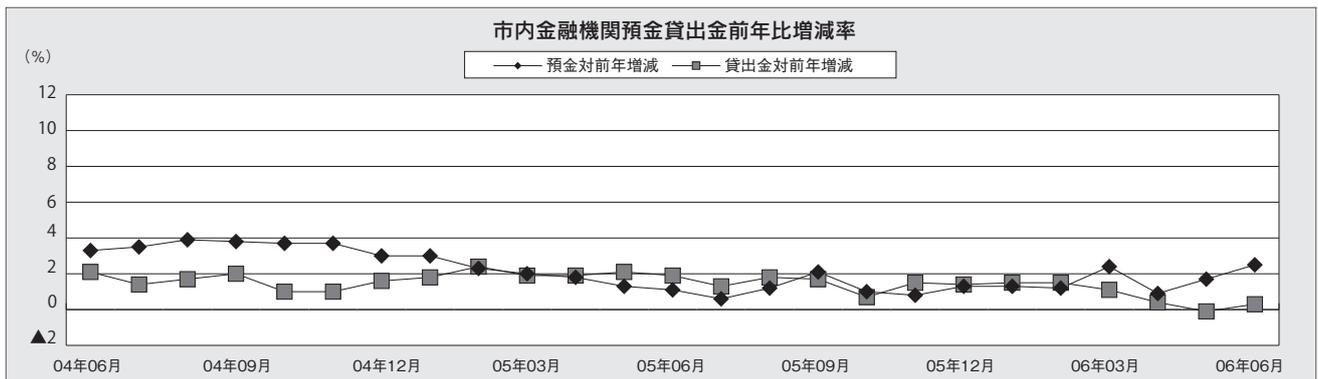
単位：%

	有効求人倍率			完全失業率	
	苫小牧管内	北海道	全国	北海道	全国
05年05月	0.99	0.95	1.10	3.2	2.7
05年06月	1.01	0.97	1.12		2.6
05年07月	1.07	1.00	1.15		2.6
05年08月	1.13	1.01	1.17	2.8	2.7
05年09月	1.12	1.01	1.18		2.6
05年10月	1.16	1.02	1.19	2.7	2.5
05年11月	1.17	1.04	1.20		2.4
05年12月	1.23	1.04	1.23		2.3
06年01月	1.23	1.00	1.21	2.4	2.4
06年02月	1.19	1.00	1.20		2.6
06年03月	1.19	0.99	1.17		2.7
06年04月	1.11	0.91	1.08		2.8
06年05月	1.05	0.89			

\*資料出所 … 苫小牧公共職業安定所「業務概要」より



## 8. 金融の状況



### 苫小牧市内預金・貸出金残高

単位：百万円・%

単位：百万円・%

	預金残高	前年比
05年06月	872,062	1.1
05年07月	868,014	0.6
05年08月	880,655	1.2
05年09月	880,205	2.1
05年10月	881,476	1.0
05年11月	877,132	0.8
05年12月	887,067	1.3
06年01月	875,438	1.3
06年02月	871,706	1.2
06年03月	865,448	2.4
06年04月	881,037	0.9
06年05月	882,626	1.7
06年06月	893,530	2.5

	貸出金残高	前年比
05年06月	475,041	1.9
05年07月	474,963	1.3
05年08月	475,344	1.8
05年09月	474,110	1.7
05年10月	471,451	0.7
05年11月	476,229	1.5
05年12月	482,084	1.4
06年01月	479,119	1.5
06年02月	478,606	1.5
06年03月	479,143	1.1
06年04月	477,985	0.4
06年05月	473,473	▲0.1
06年06月	476,476	0.3

\*資料出所 … 苫小牧金融協会

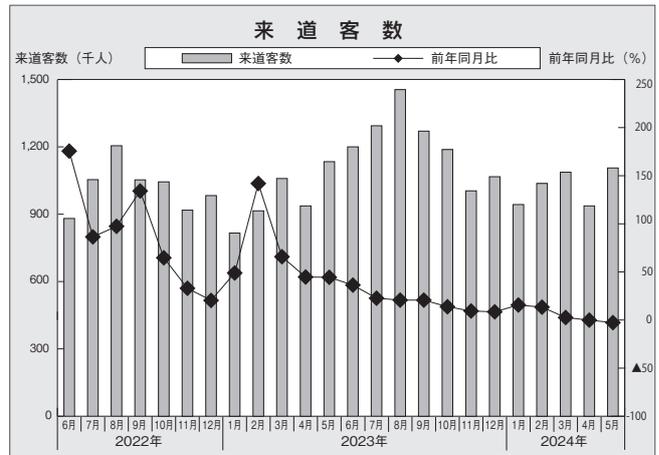
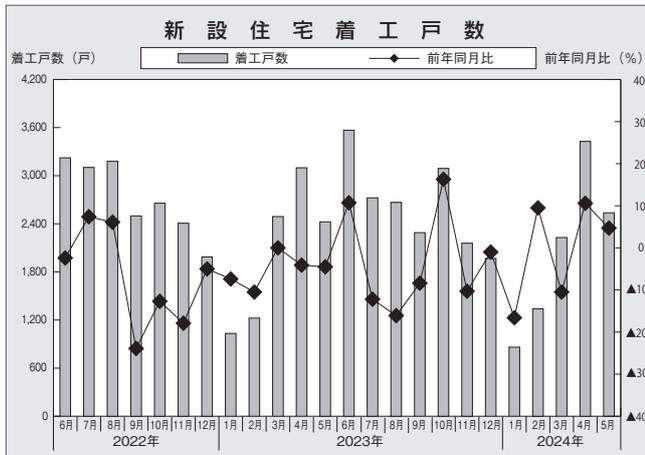
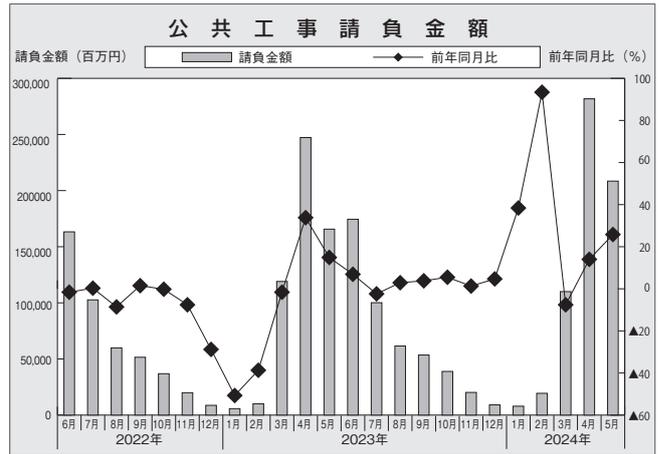
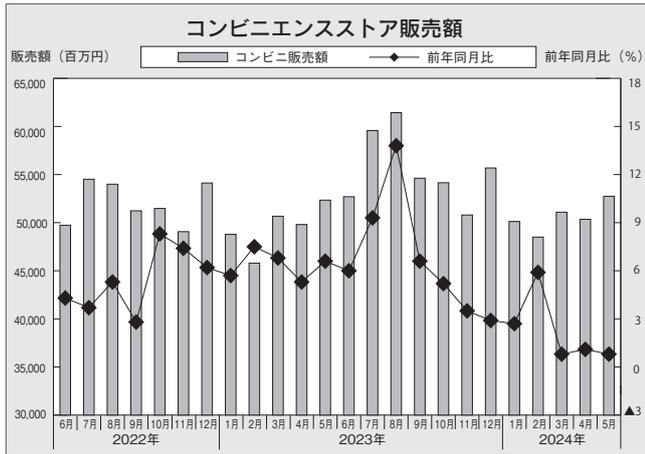
## 9. 管内の人口・世帯数 (令和6年6月末)

単位：人

市 町	人 口		世 帯 数	
	人 口	前 年 差	世 帯	前 年 差
管内合計	338,851	▲ 2,765	186,282	710
市部計	263,706	▲ 1,450	143,918	861
苫小牧市	166,025	▲ 1,374	91,420	289
千歳市	97,681	▲ 76	52,498	572
郡部計	75,145	▲ 1,315	42,364	▲ 151
白老町	15,230	▲ 317	9,194	▲ 75
厚真町	4,267	▲ 66	2,116	▲ 12
安平町	7,323	▲ 22	4,061	40
むかわ町	7,352	▲ 114	4,123	27
日高町	11,031	▲ 159	6,272	▲ 28
平取町	4,503	▲ 115	2,428	▲ 35
新冠町	5,083	▲ 89	2,832	18
新ひだか町	20,356	▲ 433	11,338	▲ 86

# 北海道の主要経済指標

出典：経済産業省 北海道経済産業局 管内経済概況 主要経済指標



北海道の主要経済指標		コンビニ販売額		公共工事請負額		新設住宅着工戸数		来道客数	
		販売額 (百万円)	前年同月比	請負額 (百万円)	前年同月比	着工戸数 (戸)	前年同月比	来道客数 (千人)	前年同月比
2022年	6月	49,732	4.3	163,257	▲ 1.6	3,223	▲ 2.4	881	175.6
	7月	54,511	3.7	102,650	0.3	3,103	7.4	1,054	86.4
	8月	53,998	5.3	59,855	▲ 8.6	3,180	6.1	1,205	97.4
	9月	51,231	2.8	51,534	1.5	2,499	▲ 23.9	1,053	134.1
	10月	51,478	8.3	36,857	▲ 0.2	2,657	▲ 12.7	1,044	64.7
	11月	49,069	7.4	19,921	▲ 7.6	2,407	▲ 17.9	918	33.0
12月	54,122	6.2	8,682	▲ 28.8	1,987	▲ 5.0	983	20.4	
2023年	1月	48,782	5.7	5,726	▲ 50.7	1,033	▲ 7.4	816	48.9
	2月	45,798	7.5	10,031	▲ 38.7	1,224	▲ 10.5	915	141.9
	3月	50,671	6.8	119,060	▲ 1.6	2,491	0.0	1,059	65.8
	4月	49,802	5.3	247,252	33.8	3,099	▲ 4.1	937	44.7
	5月	52,342	6.6	165,658	14.9	2,424	▲ 4.5	1,134	44.4
	6月	52,694	6.0	174,462	6.9	3,567	10.7	1,200	36.3
	7月	59,567	9.3	100,138	▲ 2.4	2,724	▲ 12.2	1,294	22.7
	8月	61,432	13.8	61,565	2.9	2,667	▲ 16.1	1,455	20.7
	9月	54,619	6.6	53,509	3.8	2,290	▲ 8.4	1,270	20.7
	10月	54,148	5.2	38,890	5.5	3,091	16.3	1,188	13.8
	11月	50,795	3.5	20,175	1.3	2,158	▲ 10.3	1,004	9.4
	12月	55,682	2.9	9,093	4.7	1,968	▲ 1.0	1,067	8.5
2024年	1月	50,120	2.7	7,927	38.4	862	▲ 16.6	943	15.6
	2月	48,501	5.9	19,396	93.4	1,340	9.5	1,037	13.4
	3月	51,088	0.8	110,023	▲ 7.6	2,229	▲ 10.5	1,087	2.6
	4月	50,348	1.1	281,773	14.0	3,428	10.6	937	▲ 0.1
	5月	52,746	0.8	208,449	25.8	2,537	4.7	1,106	▲ 2.7

今号の特集は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所発行の金利・為替見通し No.2024-4（2024.7.2発行）より、国内経済・金融情勢について抜粋転載してご紹介いたします。

信金中央金庫 地域・中小企業研究所 首席主任研究員 峯岸 直輝 氏  
首席主任研究員 鹿庭 雄介 氏

## 1. 日本経済は物価高で消費者マインドが弱含み。先行きは所得環境の改善がカギ

### ◆1～3月の実質GDP 2次速報（改定値）は建設統計の修正で1次速報よりマイナス幅拡大

1～3月の実質GDP 2次速報（改定値）は前期比0.7%減（年率2.9%減）で1次速報の同0.5%減（年率2.0%減）から下方修正された。7月1日に基礎統計の訂正等によって遡及改定され、公共投資が1次速報の同3.1%増から同1.9%減へ大幅に引き下げられた。設備投資は1次速報の同0.8%減から同0.4%減へ、民間在庫変動の寄与度は0.2%ポイントから0.3%ポイントへ引き上げられた一方、個人消費は1次速報と変わらず同0.7%減で4四半期連続のマイナスとなった。また、輸出は同5.0%減から同5.1%減へ下方修正された。23年度の実質GDPは1.0%成長で1次速報の1.2%から引き下げられている。国内需要が4四半期連続のマイナスで推移するなど、24年1～3月の実質GDPの水準は低く、24年度に毎四半期、前期比0.5%（年率2%）で成長しても、24年度通年の実質GDP成長率は0.5%にとどまる。

足元について、5月の景気動向指数（C I）の一致指数は、生産・出荷や商業販売等が改善したため、上昇すると予想する。基調判断は「下方への局面変化」から「下げ止まり」に引き上げられよう。先行指数は、消費者態度指数や住宅着工等が悪化したものの、在庫率等が改善したため、上昇すると予想する。円安進行による物価高への懸念などから消費者マインドが弱含んでおり、賃上げや定額減税等による所得環境の改善が個人消費を喚起するか注目される。

### ◆6月の企業景況感は改善一服。先行きは非製造業で悪化の恐れ

5月の実質輸出は前月比1.4%減少した。内閣府が季節調整した輸出数量指数は99.5で20年8月（98.5）以来の低水準にあり、数量ベースの輸出は力強さを欠いている。また、5月の鉱工業生産は前月比2.8%増加したが、一部自動車メーカーの生産再開の影響が大きい。6月は、経済産業省による製造工業生産予測指数の補正值で同6.0%減と大幅な落込みが見込まれており、基調判断は「一進一退ながら弱含み」に据え置かれた。先行き、IT関連の需要回復や設備投資などが下支えするものの、自動車メーカーの新たな認証不正問題や海外経済の減速の影響には留意を要する。

6月の企業の景況感を日銀「短観」業況判断DI（「良い」－「悪い」）からみると、全規模全産業は+12で前と変わらず、回復が足踏みしている。大企業製造業は+13で2ポイント上昇した。価格転嫁の進展などで素材業種が改善した。一方、大企業非製造業は+33で1ポイント低下している。物価高による消費の弱含みやコスト高、人手不足などで小売・対個人サービス・宿泊・飲食等が低下した。企業の景況感は改善が一服しており、全規模全産業の先行き判断DIは2ポイント低下するなど、特に非製造業で悪化する恐れがある。

### ◆24年度の日銀「短観」の設備投資計画は前年度比8.4%増。機械受注は持直しの動き

24年度の日銀「短観（6月調査）」による設備投資計画（除くソフトウェア等、含む土地投資額）は、全規模全産業で前年度比8.4%増であり、23年度（23年6月調査）の伸び率を下回るものの、堅調な推移が見込まれる。ソフトウェア等を含む設備投資額は、同10.6%増で2桁の伸びとなる見通しである。

設備投資の先行指標である機械受注（船舶・電力を除く民需）をみると、4月は前月比2.9%減少した。非製造業（除く船舶・電力）は同5.9%増加したが、製造業が前月の大幅増（同19.4%増）の反動で同11.3%減少したことが響いた。ただ、3か月移動平均は同2.4%増と3か月連続のプラスであり、基調的には持直しの動きがみられる。また、月末受注残高を販売額（直近3か月平均）で割った手持月数は、15.0か月と受注残が高水準にあり、納期長期化等で設備投資の進捗が遅れている可能性がある。先行きは、IT関連需要の回復や省力化・DX・GX投資などが設備投資を下支えしよう。ただ、資材高騰・金利上昇や賃上げ等による負担増、資材・人手不足等に伴う建設工事等の遅延、海外経済の減速などが設備投資を抑制する恐れには留意を要する。

### ◆個人消費は新車販売の回復や気温上昇が押し上げに寄与

個人消費についてみると、4月の1世帯当たりの実質消費支出（二人以上の世帯）は前月比1.2%減少した。前年比は授業料等や洋服などが押し上げ、0.5%増と14か月ぶりにプラスに転じている。また、日銀の実質消費

活動指数（旅行収支調整済）は、前月比0.5%増加した。非耐久財が同0.3%減、サービスは同0.1%の微増にとどまったが、新車販売が回復に向かうなど、耐久財が同5.6%増加して押し上げに寄与した。

5月は、小売業販売額が前月比1.7%増加した。新車販売の回復に加え、百貨店では高額品や気温上昇で夏物商材などが堅調だった。3か月移動平均の前月比は0.4%増と4か月連続のプラスで緩やかに回復しつつある。インバウンドは、5月の訪日外客数がコロナ前（19年同月）比9.6%増加し、304.0万人となった。3月に308万人に達してから300万人強で推移している。全国百貨店のインバウンド（免税）売上高は、中国の労働節休暇などの影響で同132.4%増加し、コロナ前と同水準にとどまった国内市場に比べ大幅に改善した。

#### ◆消費者マインドは弱含んでおり、先行き、所得環境の改善が景気を下支えするか注目

先行き、生産活動は、I T関連需要の持ち直しや省力化・D X・G X投資等の需要拡大などで回復が見込まれる。また、個人消費は、賃上げ・定額減税等に伴う所得環境の改善、猛暑による季節商品の需要拡大、P C等の買替え需要などが下支えしよう。しかし、物価高で家計の購買力は落ち込んでおり、6月の消費者態度指数は3か月ぶりに改善したが、小幅な上昇にとどまった。円安進行による物価高で消費者マインドが低迷し、個人消費の回復が遅れる可能性がある。また、海外経済は、過去の累積的な金利引上げの影響などで減速懸念が燃っており、海外の景気動向にも引き続き留意を要する。

## 2. 日銀は国債買入れ減額を決定し、歴史的な円安を背景に追加利上げの可能性も

### ◆日銀は現状の金融政策を据え置き、国債買入れ減額の方針を決定

日銀は6月13～14日の金融政策決定会合で、無担保コール翌日物レートを0～0.1%程度に促す現状の金融政策を維持した。しかし、次回会合まで、長期国債・C P・社債等の買入れは24年3月に決定した方針（長期国債は月6兆円程度）に沿って実施されるが、その後は、金融市場において長期金利がより自由な形で形成されるよう、長期国債買入れを減額していく方針を決定した。市場参加者の意見を確認し、7月会合で今後1～2年程度の具体的な減額計画を決定する。減額によって購入額が償還額を下回り、日銀保有残高が縮小する「量的引締め（Q T）」に移行する。植田日銀総裁は記者会見で、「（国債買入れを）減額する以上は相応の規模になる」、「（7月会合での利上げは）当然あり得る」、「最近の円安の動きは物価の上振れ要因」と述べるなど、歴史的な円安を背景に、市場の金利先高観を強めることを意識した発言が目立った。

### ◆5月の消費者物価（除く生鮮食品）前年比上昇率は加速も、生鮮食品・エネルギーを除く総合は9か月連続で減速

5月の国内企業物価の前年比上昇率は2.4%で前月の1.1%から加速した。前月比は0.7%の上昇であり、再エネ賦課金引上げで事業用電力などが押し上げた。また、輸入物価は前年比6.9%上昇した。契約通貨ベースは同3.0%の低下だが、前月比は0.9%上昇しており、銅鉱、鉄鉱石、原油、液化天然ガス等が押し上げた。先行きも、円安進行や資源高などの影響に留意を要する。

5月の消費者物価の前年比上昇率は、生鮮食品を除く総合で2.5%となり、再エネ賦課金引上げで前月の2.2%から加速した。電気・ガス代は6月使用分から補助がなくなったが、「酷暑乗り切り緊急支援」として8～10月の期間限定で補助が再開される見込みである。一方、生鮮食品・エネルギーを除く総合は、2.1%と9か月連続で減速している。また、内閣府は、1～3月のG D Pギャップを▲1.0%とし、前期の▲0.4%から需給が緩和したと試算している。しかし、人件費の価格転嫁の影響を受けやすい「企業向けサービス価格指数」の高人件費率サービスは、5月の前年比上昇率が2.5%と23年度に入ってから2%台の推移が続いており、日銀は、先行き、人手不足等による需給の引締めや賃上げなどを受けて、基調的なインフレ率が加速すると想定している。

### ◆日銀は基調的な物価上昇率が加速する確度が高まれば追加利上げへ

4月の実質賃金は前年比1.2%減で25か月連続のマイナスとなった。物価高が押し下げており、名目賃金は同1.6%増加している。安定的に推移する共通事業所の所定内給与（一般労働者）は、実質では同0.7%減少したが、名目の伸び率は同2.1%と2%台を維持している。先行き、春闘等を反映して名目賃金の上昇率が高まり、実質賃金は改善に向かうものとみられる。

日銀は、基調的な物価上昇率の高まりに伴って緩和度合いを調整するとしている。実質賃金の改善や歴史的な円安に伴う予想インフレ率の上振れなどで基調的な物価上昇率が加速する確度が高まれば、追加利上げに踏み切ろう。

以上

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

# お取引先企業のご紹介コーナー

当金庫のお取引先企業様を紹介する「誌上ビジネスマッチング」のコーナーです。  
是非、皆様の**販路拡大やビジネスのご連携**にお役立て下さい。  
お問合せは、当金庫または直接下記掲載企業様へご連絡下さい。

## 協和製菓 株式会社

〒053-0814

苫小牧市字糸井103番16号

今年で創業67年目になります。北海道産の原料に拘り、各地スーパー、観光地で販売させていただいております。また、近年では企業間でのコラボ、OEM依頼もいただき、各地の特産品や原料を使用した製品も多数製造しております。

食品加工にはハネ品（割れたものなど）が出てしましますが、そのハネ品を製品化することによりSDGsにも取り組み、食品ロスをなくす企業努力も行っております。

今後は輸出も視野に入れ、北海道から昔ながらの日本のお菓子を発信していけるよう邁進いたします。



### <主要取扱商品>

南部煎餅、きなこねじり、あめせん、各種煎餅、  
OEM（委託製造）

【連絡先】 TEL：0144-73-5767 FAX：0144-73-6121

E-mail：kyouwaseika@amber.plala.or.jp

代表：久積 和博 様

HP：https://tomakomai.mypl.net/shop/00000365753/

## べつばら団子

〒066-0026

千歳市住吉5-13-8 スカイトウン千歳102

「道の駅サーモンパーク千歳」と「イオン千歳店 渡部商店」にて丸餅4個の串団子「べつばら団子」を販売しております。餅のやわらかさが特徴で、約10種類のラインナップがあります。

### 【主な串団子メニュー】

- ・みたらし団子：醤油のきいた切れの良いたれを使用
  - ・こしあん：他にないなめらかさで人気
  - ・ずんだ：豆の食感を残した人気の商品
  - ・きなこ団子：甘さのあるきな粉でリピート率の高い商品
  - ・京七味団子：甘だれとのりの相性が抜群 その他紫芋や鳴門金時等もご用意しております。
- いろいろな味を楽しみながら選んで味わってほしいと思っています。



### <主要取扱商品>

菓子製造施設で製造し、作り立ての手作り団子を  
販売しております。

【連絡先】 TEL：050-8892-8188

E-mail：betubaradango@ymail.ne.jp

代表：宮本 弓弦 様

### ※開館以来初めて開花 職員もびっくり サンガーデンのソテツ雄花

苫小牧市サンガーデン(末広町)で、10~15年に一度しか咲かないとされるソテツの雄花が開花した。黄色みがかった長細い円柱状の花と強い芳香が特徴的で、南国の雰囲気が漂う。35年前の開館以来初めての開花といい、職員らを驚かせている。

ソテツは裸子植物のソテツ目に属する常緑樹。サンガーデンによると円柱状の雄花に対し、雌花は密生したドーム状の花を咲かせるが開花しないと雄株か雌株かの判別は難しい。緑化相談員の黒崎暁子さんは「奄美諸島や九州の海岸などに多く生息しているが関東以北で雄株は少なく、雄花(の開花)は珍しい」と語る。サンガーデンでは1988年11月の開館当初から2階の温室に植えられており、樹齢35年ほど。高さ約1<sup>m</sup>、幹の直径約20<sup>cm</sup>で花は長さ40<sup>cm</sup>ほどあるが、まだ成長段階で「長いものだと野球のバットほどの長さになる」と言う -後略- (5月24日苫小牧民報社より -以下同じ)

### ※「ほべつメロン」最高値15万円 市公設地方卸売市場で初競り

むかわ町穂別地区の特産品で地域ブランド「ほべつメロン」の初競りが13日、苫小牧市公設地方卸売市場で行われた。卸売取引の最高値は、最上級品質「秀」の5玉が前年同額の15万円。この日から苫小牧市内のスーパーなどで販売している。

とまこまい広域農業協同組合のほべつメロン生産部会が生産。今年は農家23戸が約14<sup>畝</sup>に赤肉メロン「ルピアレッド」を作付け。昨年まで生産した「おくり姫」は種の供給がないため中止し、「サマルピア」を農家1戸が試行的に生産する。

11日に札幌に初出荷しており、苫小牧では13日が初競り。メロンは糖度15度の甘さを誇る「秀」「優」「良」の4~6玉入り計24箱が持ち込まれ、最高値の箱以外も5万~8000円の価格を付けた。 -後略- (6月13日)

### ※売上高過去最高37億円 苫東23年度決算前期比79.4%増 用地の分譲件数、面積も最高

苫小牧東部地域で産業用地の造成や分譲などを行う第三セクター、株式会社苫東は20日、2024年3月期(23年度)決算を発表した。売上高は前期比79.4%増の37億2608万円、純利益は8.5%増の6億9290万円の増収増益で、いずれも1999年の同社設立以降で最高額。ラピダス(東京)の千歳進出に伴い半導体関連産業の進出が相次いだ他、本道の物流拠点で広大な用地がある苫東の優位性が改めて注目され、用地の分譲件数、分譲面積も過去最高だった。

用地分譲は12件、68.5<sup>畝</sup>。このうち新規が6件、追加分譲が4件の計10件、21.1<sup>畝</sup>。昨年8月に臨空柏原地区への進出を表明した、半導体製造装置に使う真空機器や配管の製造などを展開するテクノフレックス(東京)をはじめ、ラピダス進出の動きに関連した用地分譲が3件あった。この他、安平川河道内調整地事業による用地買収と港湾用地の分譲が各1件。用地分譲は半導体関連産業に加え、物流、製造など幅広い業種から引き合いがあり、積極的な企業誘致と相まって過去最高の面積、件数を達成。増収は2期ぶり、増益は5期連続。 -後略- (6月20日)

### ※セレクトセール活況で幕 落札総額289億円 4年連続最高を更新

日本競走馬協会が主催する国内最大のサラブレッド競り市「セレクトセール」は9日、苫小牧美沢のノーザンホースパークで当歳(0歳)馬の競りを行い、閉幕した。2日間合計で455頭が取引され、落札総額は4年連続で歴代最高を更新する289億1800万円。同協会の吉田照哉会長代行は「競馬が魅力的ということに尽きる」と笑顔で総括した。

同セールは27年目で、価格は税抜き。2日間の落札総額は、過去最高だった前年と比べて2.7%(7億7300万円)増。今年は1歳馬、当歳馬計472頭を上場し、落札率は前年比0.4<sup>ポイント</sup>増の96.4%だった。1億円超えの取引は、1歳、当歳が各32頭の計64頭で、史上最多だった前年を1頭上回った。

このうち9日は当歳馬の競りを行った。上場239頭のうち取引は231頭で、落札率は前年比1.9<sup>ポイント</sup>増の96.7%。落札額は144億2100万円で2.4%減だが、当歳馬としては2年連続で140億円超え。最高値はキタサンブラック産駒の牡馬「セリエンホルデの2024」の4億1000万円だった。 -後略- (7月10日)

## とましん結婚相談所「LLB会」

とましん結婚相談所「LLB会」事務局

苫小牧市表町3丁目1番6号

苫小牧信用金庫本店7階

電話 0144-56-5026

【平日 9:00~17:30】

## お気軽に、お問い合わせください！



## ■活動実績

(令和6年6月30日現在)

入会者数	男性	387名
	女性	390名
	合計	777名

お見合回数 889回

結婚又は婚約中 69組

子供の誕生 22名

## ■会員資格

1. 苫小牧信用金庫の営業地域にお住まいの方
  2. 法的にも実生活上においても独身の方
  3. 結婚したいという明確な意思のある方
  4. 反社会的勢力でないこと
- ※ 会員の有効期間は入会日より3年間です  
(希望により延長も可能です)

## ■入会にあたりご提出いただくもの

1. 申込書類  
(当会所定の入会申込書、プロフィール、誓約書)
2. 戸籍謄本または独身証明書
3. 最終学歴の卒業証書(任意)
4. 収入証明書(源泉徴収票など)
5. 申込書貼付用顔写真1枚(縦横5cm程度)
6. お相手へのご紹介用写真2カット  
(L判サイズ、1枚は全身が写っているもの)
7. 入会預り金 10,000円  
(退会時には全額返却いたします)

## ■LLB会のシステム

1. 申込書に記載された「お相手の希望」に沿った方の「プロフィール及び写真」を見ていただけます。
2. お会いしてみたい方がいた場合、事務局よりお相手の方に連絡し了解がとれれば、お見合いをしていただけます。(お見合い会場は苫小牧信用金庫本店内)
3. お見合い後に、交際希望の有無を確認させていただきます。
4. 双方が交際を希望した場合、3か月の交際期間を設けます。交際期間の中で「結婚を前提に交際を継続」または「交際を辞退」の結論を出していただけます。

とましん景況レポート No.159

令和6年8月発行

発行/苫小牧信用金庫 編集/業務推進部

〒053-8654 苫小牧市表町3丁目1番6号

TEL(0144)31-2145 FAX(0144)31-2341

※本レポートは調査時点における情報提供を目的としています。  
したがって投資等についてはご自身の判断によってください。  
また、本レポート掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫が正確性および完全性を保証するものではありません。